

JRC Launcher V2 オペレーションマニュアル

29 March 2011, Revision 1.9

Japan Radio Co., Ltd.

目次

1.	はじめに	4
1.1.	JRC LAUNCHER V2 とは.....	4
1.2.	機能比較.....	4
1.3.	関連文書.....	6
1.4.	動作環境.....	6
1.5.	使用 TCP ポート.....	7
1.6.	構成ファイル.....	7
2.	セットアップする	8
2.1.	アップグレード.....	8
2.2.	インストール.....	8
2.3.	起動.....	8
2.4.	初期設定.....	8
2.5.	アンインストール.....	8
3.	JRC LAUNCHER V2 を使用する	9
3.1.	ログイン.....	9
3.2.	ログアウト.....	11
4.	装置状態を見る	12
5.	通信を行う	13
5.1.	STANDARD 接続.....	13
5.1.1.	Standard 接続で、インターネット上の WEB ページを見る.....	13
5.2.	STREAMING 接続.....	15
5.2.1.	はじめに.....	15
5.2.2.	Standard 接続との違い.....	15
6.	各画面の詳細	16
6.1.	共通.....	16
6.2.	MES CONT 画面.....	18
6.3.	PHONE BOOK 画面.....	20
6.4.	CALL LOG 画面.....	22
6.5.	SELF TEST 画面.....	25
6.6.	ALARM PACK 画面.....	26

6.7.	STANDARD 画面	28
6.7.1.	自端末の Standard 接続及び切断	29
6.7.2.	他端末の Standard 接続及び切断 (Multiple connection)	29
6.8.	STREAMING 画面	32
6.9.	SMS 画面	35
6.9.1.	New Message	35
6.9.2.	Inbox	37
6.9.3.	Sent	39
6.9.4.	Draft	41
6.9.5.	Setting & Information	43
6.10.	SETUP 画面	45
6.11.	PORT CONTROL 画面	47
6.12.	PORT 画面	49
6.13.	USER 画面	51
6.14.	AUTO DISCONNECT 画面	54
6.15.	SIM MENU 画面	56
6.16.	NETWORK 画面	58
6.16.1.	APN Profile	59
6.16.2.	Packet Filter	61
6.16.3.	Packet detection activate	65
6.16.4.	Always activate	67
6.17.	OPTION 画面 (FB500 のみ選択可能)	69
6.18.	EXPORT 画面	71
6.19.	IMPORT 画面	73
7.	接続する本体 (FB250 と FB500) による違い	75
8.	エラーコード	76
9.	エクスポートファイル	78
10.	略語・用語集	79
11.	ALARM PACK の省略文字	82
12.	FAQ	83
13.	改版履歴	85

1. はじめに

1.1. JRC Launcher V2 とは

JRC Launcher V2 とは、JUE-250/500 の各種操作及び、それを用いて通信を行う Window アプリケーションです。原則として FB500 OIU-WEB 相当の機能を搭載しますが、ルート情報の設定、JRC LAN の設定はできません。また FB500 のみの機能は、FB250 接続時は使用できません。

1.2. 機能比較

JRC Launcher V2(V2)と、OIU-WEB(WEB)及び Launch Pad(LP)との機能比較を以下に示します。

表 1 機能比較表(1/2)

No	機能名	V2	WEB	LP	説明
1	全体表示	○	○	△	常時表示するもの。
2	PS 通信中表示	○	○	○	PS 通信中であることを表示します。
3	CS 通信中表示	○	○	×	CS 通信中であることを表示します。
4	SMS 新着通知	○	○	○	SMS が新着したことを通知します。(*1)
5	受信レベル表示	○	○	○	現在の受信状態(Signal Quality)を表示します。
6	システムバージョン表示	○	○	○	システムバージョン SYSXX.YY を表示します。
7	ログイン	○	○	×	ハンドセット、WEB で登録したユーザを認証します。
8	MES CONT	○	○	△	各装置状態の表示とヘディング(GYRO 時のみ)、衛星サーチ、TX アラームのクリアをします。
9	PHONE BOOK	○	△	○	読み/書き/削除ができます。 WEB は 100 件まで、その他は SIM 全件操作可能。
10	CALL LOG	○	○	×	コールログの表示/削除/FILE 出力ができます。
11	SELF TEST	○	○	×	ADE と HS の接続状態を表示します。
12	ALARM PACK	○	○	×	アラーム履歴、現在の状態、各装置のバージョン及びシリアル No を表示します。
13	STANDARD CONNECTION (*2)	○	○	△	STANDARD 接続を行います。 V2 と WEB は、他端末の接続も行うことができます。 他端末の接続状態を表示しそれを切断できます。
14	STREAMING CONNECTION (*2)	○	○	△	STREAMING 接続を行います。 V2 と WEB は、他端末の接続も行うことができます。 他端末の接続状態を表示しそれを切断できます。
15	SMS	○	○	○	SMS の作成/送信/保存/受信が行えます。
16	SETUP	○	○	×	装置全体の設定を行います。
17	PORT CONTROL	○	○	×	ハンドセット、TEL1/TEL2 の設定を行います。
18	PORT	△	○	×	ISDN、ハンドセット、Ethernet の設定を行います。
19	MSN 設定	○	○	×	MSN を設定します。
20	ハンドセット設定	○	○	×	ハンドセットのディママー等を設定します。
21	本体 IP 設定	○	○	×	本体 IP を設定します。(*3)
22	RAS 設定	×	○	×	RAS の有効/無効、IP を設定します。
23	ルーティング設定	×	○	×	ルーティングを設定します。

表 2 機能比較表(2/2)

No	機能名	V2	WEB	LP	説明
24	USER	○	○	×	ユーザの登録/削除をします。 ユーザ毎に使用可能な通信設定(プロファイル)の指定や、他端末の接続制御の可否を設定します。 No.7 のログインにも使用します。
25	AUTO DISCONNECT	○	○	×	自動的に切断する時間を設定します。
26	SIM MENU	○	○	○	SIM の状態表示、PIN 及び PIN 入力の変更を行います。
27	NETWORK	○	○	×	PS 接続に関する設定を行います。
28	APN Profile	○	○	×	APN/Username/Password/Global IP 設定を登録します。
29	Packet filter	○	○	×	パケットフィルタの登録/削除をします。
30	Packet Detection Activate	○	○	×	パケット送出による PS 自動接続機能を設定します。
31	Always Activate	○	○	×	PS 常時接続機能を設定します。
32	OPTION	○	○	×	ブザー、ボタン、TEL3-6、外部 GPS、VDR の設定を行います。
33	EXPORT	○	○	×	設定値を外部ファイルへ保存します。(*4)(*5)
34	IMPORT	○	○	×	EXPORT した設定値を本体へ戻します。(*4)(*5)

(*1)アプリケーション起動中に新着した場合のみ表示します。(*2)ログインしたユーザ権限により一部機能に制限がかけられます。(*3)本体 IP を変更した場合は、一度切断されます。(*4)EXPORT できるデータは SETUP/PORT CONTROL/PORT/USER/AUTO DISCONNECT/NETWORK/OPTION の 6 種類です。(*5)JRC Launcher V2 で EXPORT したデータと OIU-WEB で EXPORT したデータは互換性はありません。EXPORT したツールで IMPORT して下さい。
○は対応、△は一部対応、×は未対応を示します。

1.3. 関連文書

用語の説明や本体の機能の詳細については、お使いの JUE-250 又は JUE-500 の取扱説明書を参照して下さい。

1.4. 動作環境

JRC Launcher V2 は、Windows XP 及び Vista、7 の、それぞれ 32 ビット英語版、32 ビット日本語版で動作します。

- Windows XP(SP3) 32 ビット日本語版
- Windows XP(SP3) 32 ビット英語版
- Windows Vista(SP2) 32 ビット日本語版
- Windows Vista (SP2)32 ビット英語版
- Windows 7 32 ビット日本語版
- Windows 7 32 ビット英語版

JRC Launcher V2 のウィンドウサイズは固定です。XGA(1024×768)以上の解像度を持つディスプレイが必要です。

JUE-250/JUE-500 の SYS バージョンにより使用できる JRC Launcher V2 のバージョンが異なります。JRC Launcher V2 は JUE-250/JUE-500 に関わらず同じものが使用できます。

表 3 JRC Launcher V2 のバージョンと SYS バージョンの対応

	JUE-250	JUE-500
JRC Launcher V2.0.3.2	SYS01.22 又は SYS01.23	SYS11.33 又は SYS11.34
JRC Launcher V2.0.4.3	SYS01.26	-
JRC Launcher V2.0.4.6	-	SYS11.38
JRC Launcher V2.0.4.8	SYS01.27 以降	SYS11.39 以降

SYS バージョンは、ハンドセットメニューの<1> Status - <5> Unit Info - <2> Mainte No. - SYS で確認できます。

1.5. 使用 TCP ポート

JRC Launcher V2 は本体の TCP1829 ポートと 1840 ポートを使用します。

1.6. 構成ファイル

JRC Launcher V2 は以下のファイルで構成されます。

表 4 構成ファイル

ファイル名	説明
JRCLauncherV2.exe	本体です
*.conf	各種設定をファイルに保存します なければデフォルト値で動作し、設定時に自動生成します

2. セットアップする

本章では、JRC Launcher V2 のセットアップ方法を記述します。

2.1. アップグレード

JUE-250/JUE-500 の SYS バージョンが動作環境を満たさない場合は、アップグレードしてください。

2.2. インストール

適当なディレクトリを作成し、JRCLauncherV2.exe を置きます。

2.3. 起動

JRCLauncherV2.exe を実行します。

2.4. 初期設定

通常使用では必要ありません。

特に必要がある場合は、各画面で設定してください。

2.5. アンインストール

インストール時に作成したディレクトリごと削除します。

レジストリは使用していない為、それでアンインストールは完了です。

3. JRC Launcher V2 を使用する

本体の電源が入っていることを確認し、本体と接続された PC で JRCLauncherV2.exe を実行します。

3.1. ログイン

JRC Launcher V2 を起動すると、最初に以下のログイン画面が表示されます。

ユーザ名とパスワードを入力し、認証に成功するとログインユーザの権限に応じた機能を使用できます。ログイン時、チェックボックスにチェックを入れると、入力したユーザ名とパスワードを保持し、次回起動時に自動的に表示します。

初期設定では、ユーザ名: ADMIN , パスワード:0001 のみが登録されています。USER 画面(6.13 USER 画面参照)の”USER”, ”CODE”の設定を変更することによって、ユーザ名とパスワードを変更・追加することができます。また初期状態では、192.168.128.100 の本体へ接続しようとしています。本体の IP アドレスを変更している場合は、その IP アドレスを指定する必要があります。

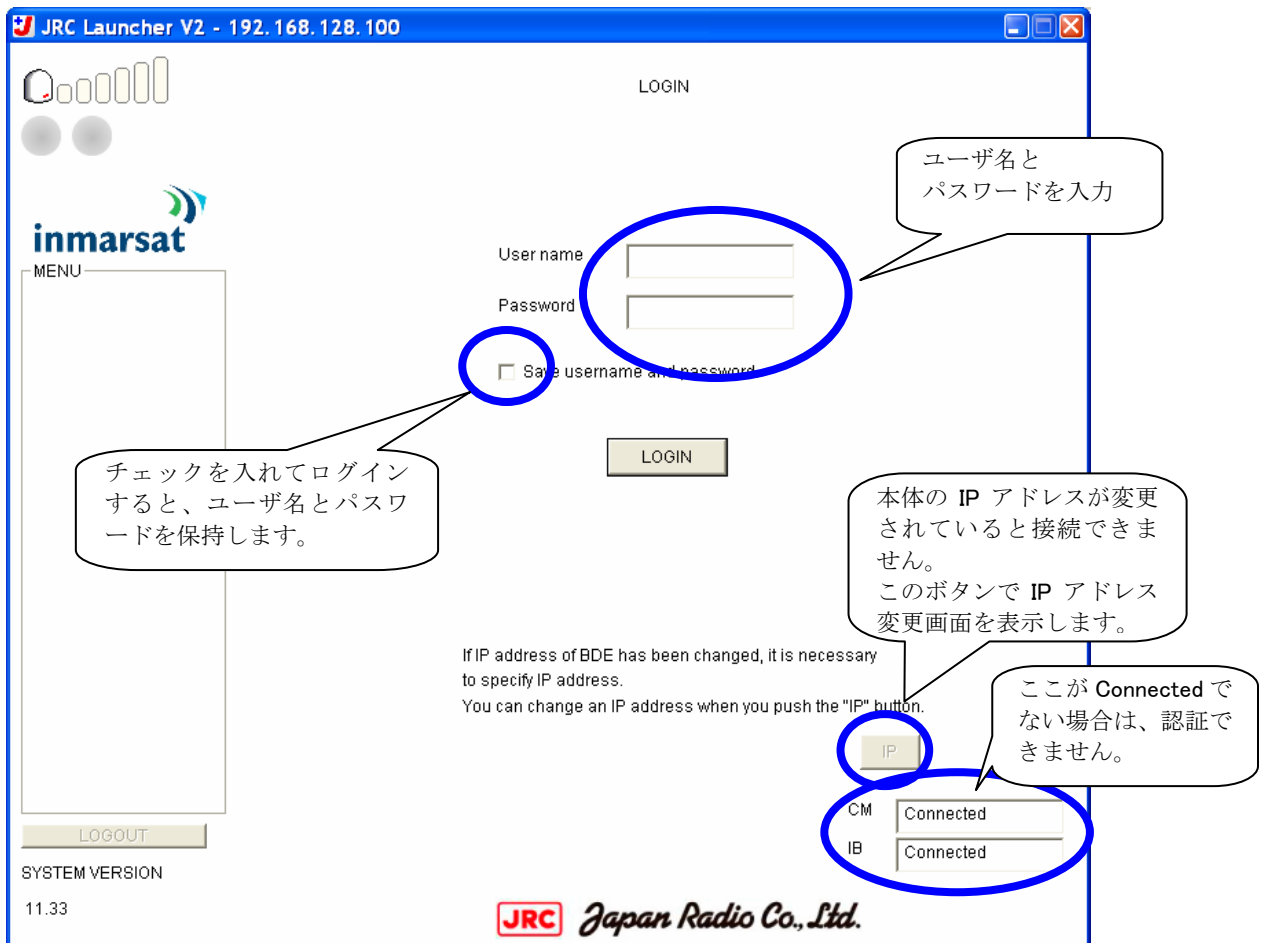


図 1 ログイン画面

また、認証に失敗した場合は、認証エラーがポップアップで通知されますのでユーザ名とパスワードを確認してください。(12 FAQ 参照)



図 2 IP 指定画面

本体の IP アドレスが変更されている場合は、JRC Launcher へその IP を指定する必要があります。IP ボタンを押すと、図 2 のダイアログが表示されます。そこで、変更後の本体の IP を指定します。

ログインは、右下の接続表示が CM と IB の両方が **Connected** になっていないと行えません。

10 秒程度待っても **Connected** にならない場合は、以下の項目を確認してください。

- 本体の電源は入っていますか？
- 本体と LAN ケーブルで接続されていますか？
- 本体 IP を変更していませんか？

上記の項目を確認しても **Connected** にならない場合は、JRC Launcher V2 を再起動してください。

認証に成功すると、以下のように MES CONT 画面が開きます。

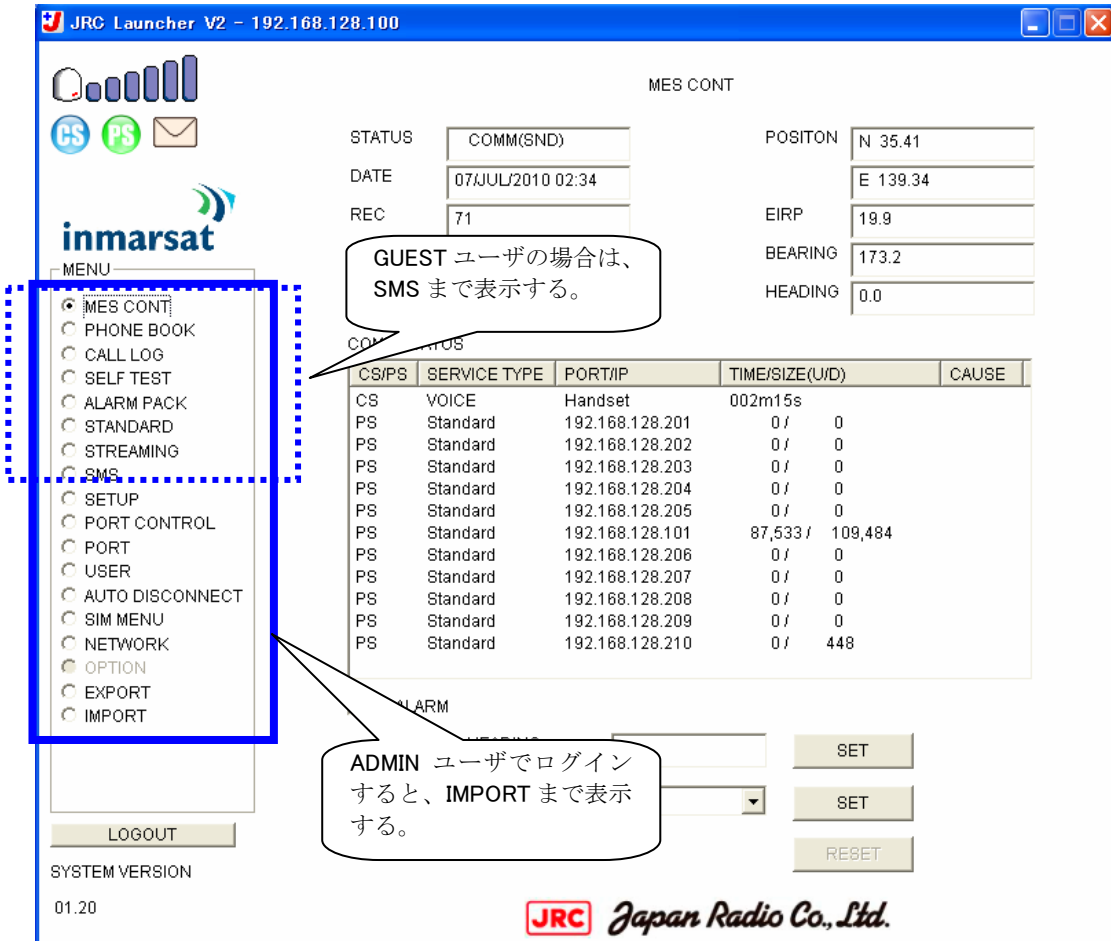


図 3 ログイン成功

3.2. ログアウト

MENU 下の LOGOUT ボタンを押すと、ログアウトし、ログイン画面に戻ります。

その時、自端末 IP による PS 接続が通信中の場合、それを切断するか、継続するかを確認するダイアログが表示されます。

4. 装置状態を見る

装置状態は、常に表示されているもの、各画面で表示しているものがあります。

JRC Launcher V2 で参照できる代表的な装置状態を以下に示し、それらを表示する各画面について説明します。

表 5 JRC Launcher V2 で参照できる装置状態概要

No	状態	説明	表示画面
1	システムバージョン	システムのバージョンを常時表示	常時表示 ALARM PACK
2	各シリアル No	IMEI, JRC No	ALARM PACK
3	受信レベル	Signal Qualiry をバー表示したものを常時表示 REC レベルを MES CONT と ALARM PACK へ表示	常時表示 MES CONT ALARM PACK
4	CS 通信状態	通信有無を常時アイコン表示 種別、時間等の内容を MES CONT へ表示	常時表示 MES CONT
5	PS 通信状態	通信有無を常時アイコン表示 種別、端末 IP を MES CONT へ表示 使用 CID/APN までの表示を STANDARD CONNECTION、 STREAMING CONNECTION へ表示	常時表示 MES CONT STANDARD STREAMING
6	新着 SMS	新着有を常時アイコンで表示	常時表示
7	TX アラーム	TX アラームの発生を MES CONT へ表示 発生アラームを ALARM PACK へ表示 (OFF PWR, HIGH PWR, BURST が TX アラーム)	MES CONT ALARM PACK
8	装置ステータス	装置ステータス(ハンドセット下段表示相当)を MES CONT へ表示	MES CONT
9	現在日時	現在日時を MES CONT と ALARM PACK へ表示 ※精度(更新間隔)は、Windows 時計 < MES CONT < ALARM PACK	MES CONT ALARM PACK
10	現在位置	現在位置を MES CONT と ALARM PACK へ表示	MES CONT ALARM PACK
11	使用衛星	現在使用している(又はサーチしている)衛星を MES CONT と ALARM PACK へ表示	MES CONT ALARM PACK
12	SIM PIN	PIN の状態及び残入力回数を SIM MENU へ表示	SIM MENU
13	その他	その他、各状態は、上記状態の表示画面へ表示	上記参照

5. 通信を行う

JRC Launcher V2 では、Standard 接続と Streaming 接続が行えます。

また、ADMIN ユーザは、ユーザ毎に Standard/Streaming 接続に関する制限をかけることができます。(6.13 USER 画面参照)

本章では、一切の制限が設定されていないことを想定して説明します。

5.1. Standard 接続

5.1.1. Standard 接続で、インターネット上の WEB ページを見る

- ① Standard 接続を行うには、まず左のメニューから”STANDARD”を選択します。
STANDARD CONNECTION 画面が表示されます。

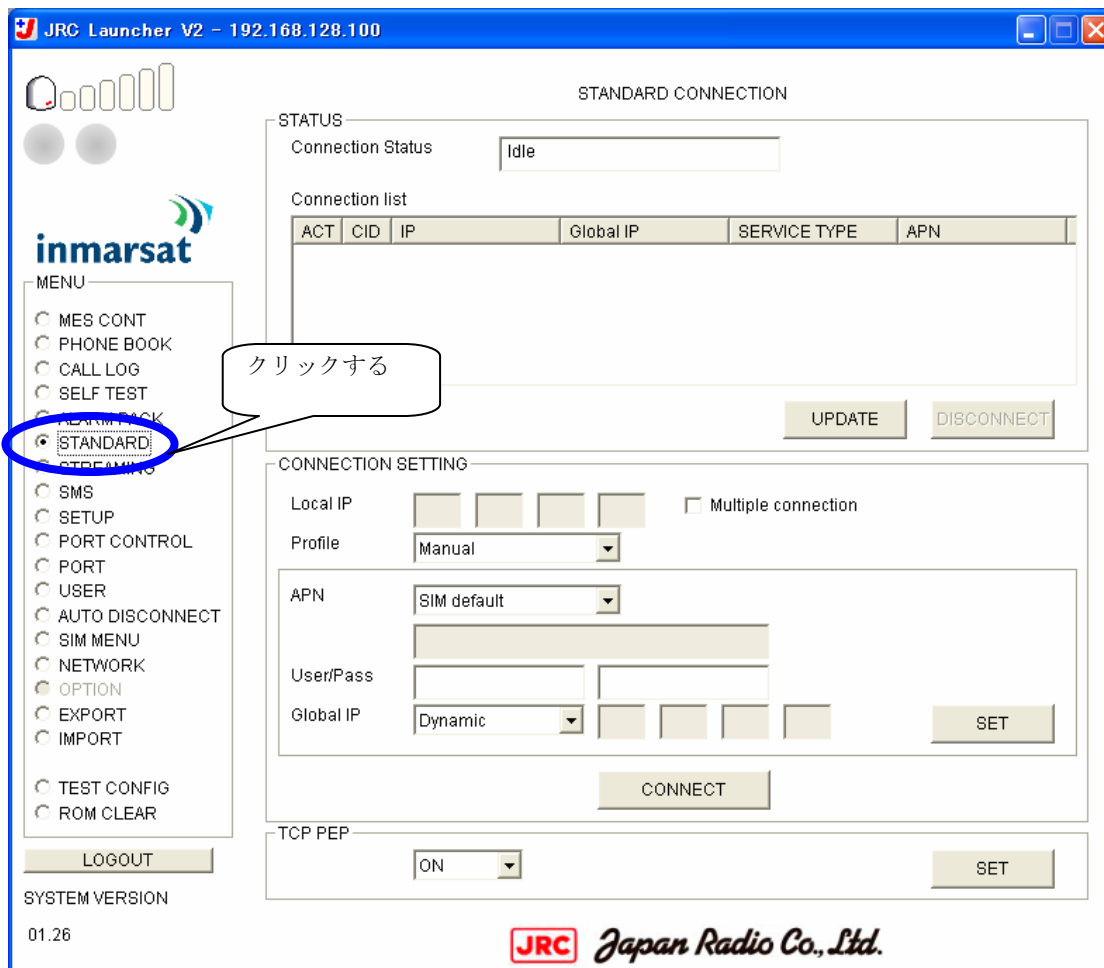


図 4 STANDARD 画面

- ② Multiple connection にチェックが入っていないことを確認します。
チェックが入っている場合はチェックを外して下さい。
- ③ APN を設定します。
APN を SIM default, Network assigned, User defined から選択します。User defined を選択した場合は、APN の文字列を入力します。通常は、SIM default で接続できます。
- ④ ユーザ名とパスワードを設定します。
User/Pass に、ユーザ名とパスワードを入力します。(必要に応じてサービスプロバイダから提供されます。)
JRC Launcher V2 へログインしたパスワードとは異なります。
- ⑤ グローバル IP アドレスを設定します。
Dynamic か Static を選択します。Static を指定した場合は、端末に割り当てるグローバル IP を入力します。
(グローバル IP は必要に応じてサービスプロバイダから提供されます。)
- ⑥ 接続する。
CONNECT ボタンを押します。
CONNECT ボタンを押すと、JUE-250/500 は、上記の設定に従い接続を開始します。接続の状況は、画面上の Connection status で確認できます。正常な場合は、Idle から Connecting, Connected へと変化します。Connected へ変化したら接続は完了です。
- ⑦ ブラウザを起動する。
ブラウザ(Internet Explorer や Firefox)を起動します。インターネット上の WEB ページを閲覧できます。
- ⑧ 切断する。
画面下の DISCONNECT ボタンを押します。
接続時に押した CONNECT ボタンが、接続中は DISCONNECT ボタンへ変化しています。

5.2. Streaming 接続

5.2.1. はじめに

Streaming 接続を行うには、まず左のメニューから”STREAMING”を選択します。

STREAMING CONNECTION 画面が表示されます。

STANDARD CONNECTION との違いは、SETTING 欄の RATE 項目の有無のみです。接続方法及び、切断方法は「5.1 Standard 接続」と同様ですのでそちらを参照してください。

5.2.2. Standard 接続との違い

RATE は、希望する通信レート(Desired)と許容できる最小通信レート(Minimum)を設定します。

範囲は共に 8K~256K ですが、256K を選択できるのは、JUE-500 の場合のみです。

また、Minimum ≤ Desired である必要があります。(自動的に補正します)

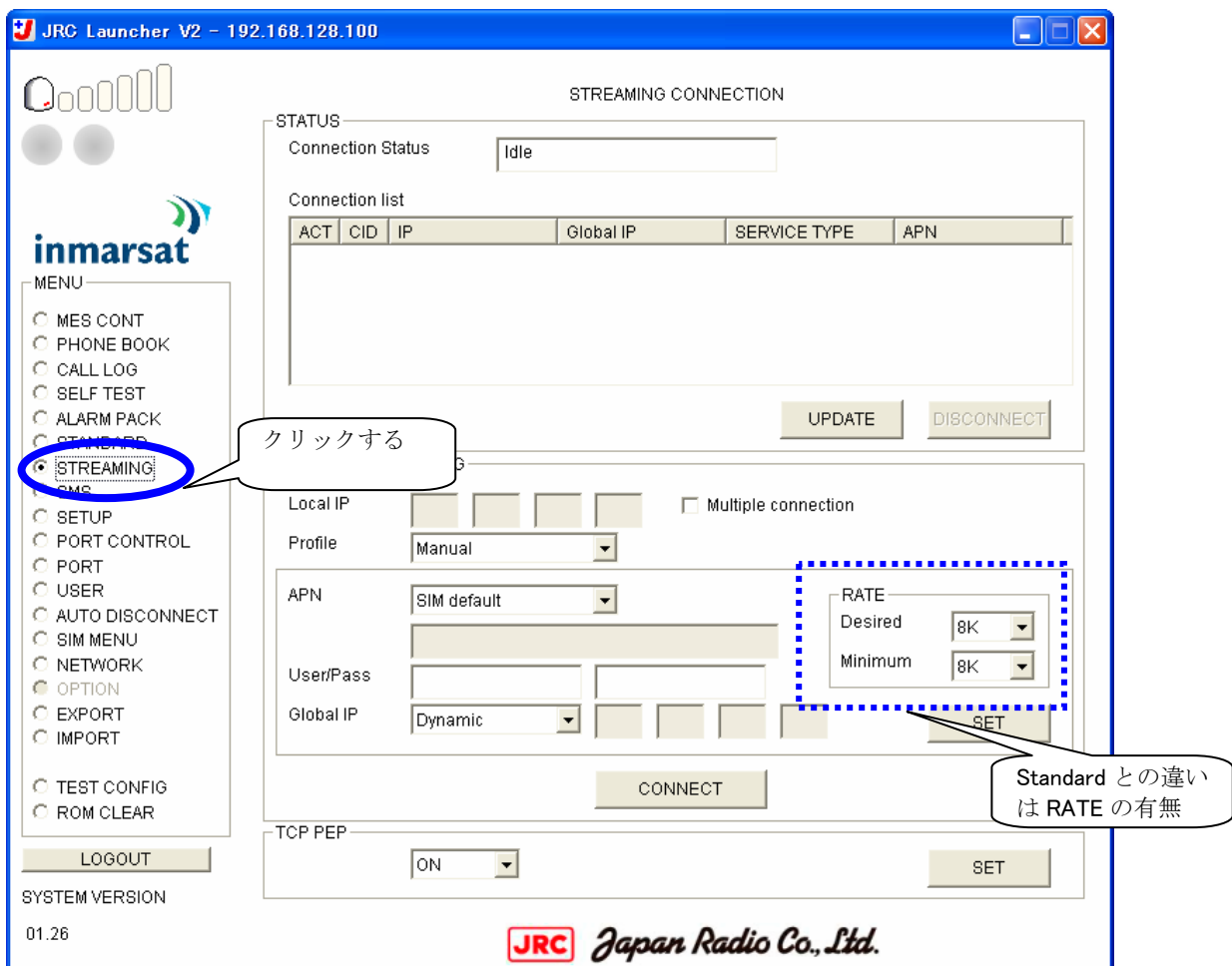


図 5 STREAMING 画面

6. 各画面の詳細

JRC Launcher V2 の各画面の詳細説明を以下に記述します。

6.1. 共通

画面の左側と下側は、全ての画面で共通です。



図 6 共通画面

表 6 共通画面項目

No	項目	説明
1	REC バー	左上の6本のバーは受信レベルを表します。 最大で6本で、3本から安定して通信が行えます。
2	CS アイコン	CS 通信中を示すアイコンです。
3	PS アイコン	PS 通信中を示すアイコンです。
4	SMS 新着アイコン	新着 SMS があることを示すアイコンです。
5	Inmarsat ロゴ	ロゴマークです。
6	MENU	画面選択メニューです。 ログインしたユーザ権限により表示項目が変化します。
7	LOGOUT ボタン	ログアウトボタンです。
8	SYSTEM VERSION	本体のシステムバージョンを表示します。
9	JRC ロゴ	ロゴマークです。
10	アイコン	アイコンをクリックし、About JRCL を選択すると JRC Launcher V2 のバージョン情報を表示します。

6.2. MES CONT 画面

MES CONT では、よく参照される装置状態を表示します。

またヘディング値設定 (GYRO 動作時のみ)、衛星選択、TX アラームのクリア (TX アラーム発生時のみ) を行えます。

MES CONT

① STATUS: COMM(SND) POSITION: N 35.41 ③

② DATE: 07JUL/2010 02:34 E 139.34

④ REC: 71 EIRP: 19.9 ⑤

⑥ SAT: APAC E 143.5 BEARING: 173.2 ⑧

⑦ SPOT: 113 HEADING: 0.0 ⑨

COMM STATUS

CS/PS	SERVICE TYPE	PORT/IP	TIME/SIZE(U/D)	CAUSE
CS	VOICE	Handset	002m15s	
PS	Standard	192.168.128.201	0 / 0	
PS	Standard	192.168.128.202	0 / 0	
PS	Standard	192.168.128.203	0 / 0	
PS	Standard	192.168.128.204	0 / 0	
PS	Standard	192.168.128.205	0 / 0	
PS	Standard	192.168.128.101	87,533 / 109,484	
PS	Standard	192.168.128.206	0 / 0	
PS	Standard	192.168.128.207	0 / 0	
PS	Standard	192.168.128.208	0 / 0	
PS	Standard	192.168.128.209	0 / 0	
PS	Standard	192.168.128.210	0 / 448	

⑩

⑪ TX ALARM

⑫ HEADING: [] SET

⑬ SATELLITE: [AUTO] SET

⑭ TX ALARM: [] RESET

inmarsat

MENU

- MES CONT
- PHONE BOOK
- CALL LOG
- SELF TEST
- ALARM PACK
- STANDARD
- STREAMING
- SMS
- SETUP
- PORT CONTROL
- PORT
- USER
- AUTO DISCONNECT
- SIM MENU
- NETWORK
- OPTION
- EXPORT
- IMPORT

LOGOUT

SYSTEM VERSION

01.20

JRC Japan Radio Co., Ltd.

図 7 MES CONT 画面

表 7 MES CONT 画面項目

No	項目	説明
1	STATUS	装置ステータスを表示します。 ハンドセットの下段表示と同等です。
2	DATE	装置の時刻を表示します。アラームパックやコールログはこの時刻で保存されます。
3	POSITION	自船の位置情報を表示します。
4	REC	受信レベルを表示します。
5	EIRP	送出レベルを表示します。
6	SAT	現在使用している(又はサーチしている)衛星を表示します。
7	SPOT	現在受信しているスポットビーム No を表示します。
8	BEARING	ベアリング値を表示します。
9	HEADING	ヘディング値を表示します。(GYRO 動作時のみ)
10	COMM STATUS	現在通信中の情報を表示します。
11	TX ALARM	TX アラーム発生時にチェックが入ります。
12	HEADING 設定	ヘディング値を設定します。設定可能範囲は 0~359 です。 (GYRO 動作時のみ)
13	衛星選択	プルダウンメニューある現在選択可能な衛星から衛星を選択します。 AUTO を選択すると、装置が最適と思われる衛星を自動的に選択します。
14	TX アラームクリア	TX アラーム発生時にそれをクリアします。

6.3. PHONE BOOK 画面

PHONE BOOK 画面では、SIM カードに保存された電話帳を表示します。

電話帳の新規作成、編集、削除を行えます。

また電話帳のリストをファイルに保存できます。

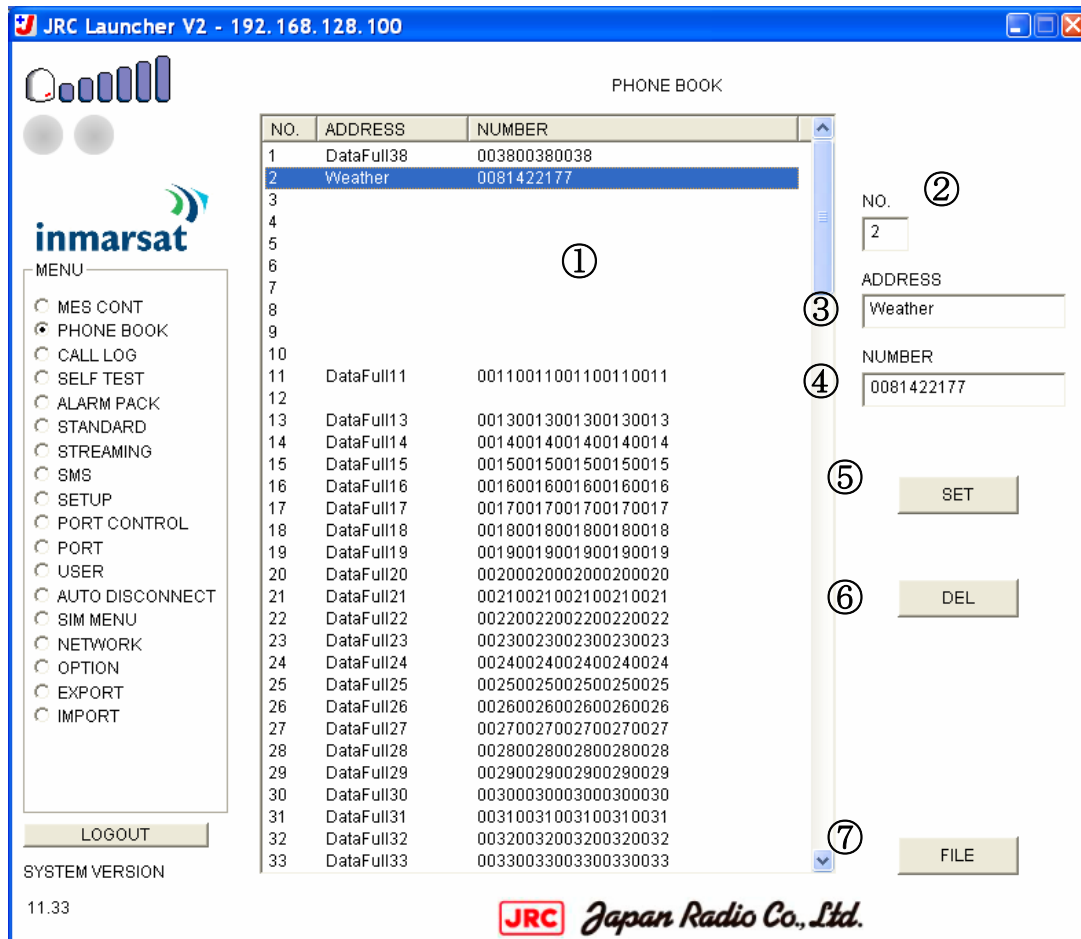


図 8 PHONE BOOK 画面

表 8 PHONE BOOK 画面項目

No	項目	説明
1	電話帳リスト	SIM カードに保存された電話帳の一覧を表示します。 JRC Launcher V2 では、SIM カードにより最大 254 件表示/編集できます。 しかしハンドセット及び OIU-WEB で参照できるのは先頭から 100 件までなので、ハンドセット及び OIU-WEB から使用する電話帳は、100 件目までに保存してください。
2	NO.	電話帳リストで選択した NO.を表示します。(編集不可)
3	ADDRESS	電話帳リストで選択した NO.の ADDRESS を表示します。 編集することが可能です。 ADDRESS は最大 10 文字まで入力できます。
4	NUMBER	電話帳リストで選択した NO.の NUMBER を表示します。 編集することが可能です。 NUMBER は最大 20 桁まで入力できます。
5	SET ボタン	編集結果を SIM カードへ保存します。
6	DEL ボタン	選択した NO.の電話帳を削除します。
7	FILE ボタン	電話帳リストをファイルへ保存します。

6.4. CALL LOG 画面

CALL LOG 画面では、本体に保存されたコールログを表示します。

SERVICE TYPE と COMM(着信/発信/両方)を選択し、DISP ボタンを押すことで指定したコールログを表示できます。表示内容は、ファイルへ保存することができます。

ALL CLEAR することで、**全てのコールログ(全 SERVICE TYPE、全方向)**を削除することができます。

リストの項目名をクリックすることで、項目毎にソートすることができます。クリックする毎に昇順と降順を切り替えます。

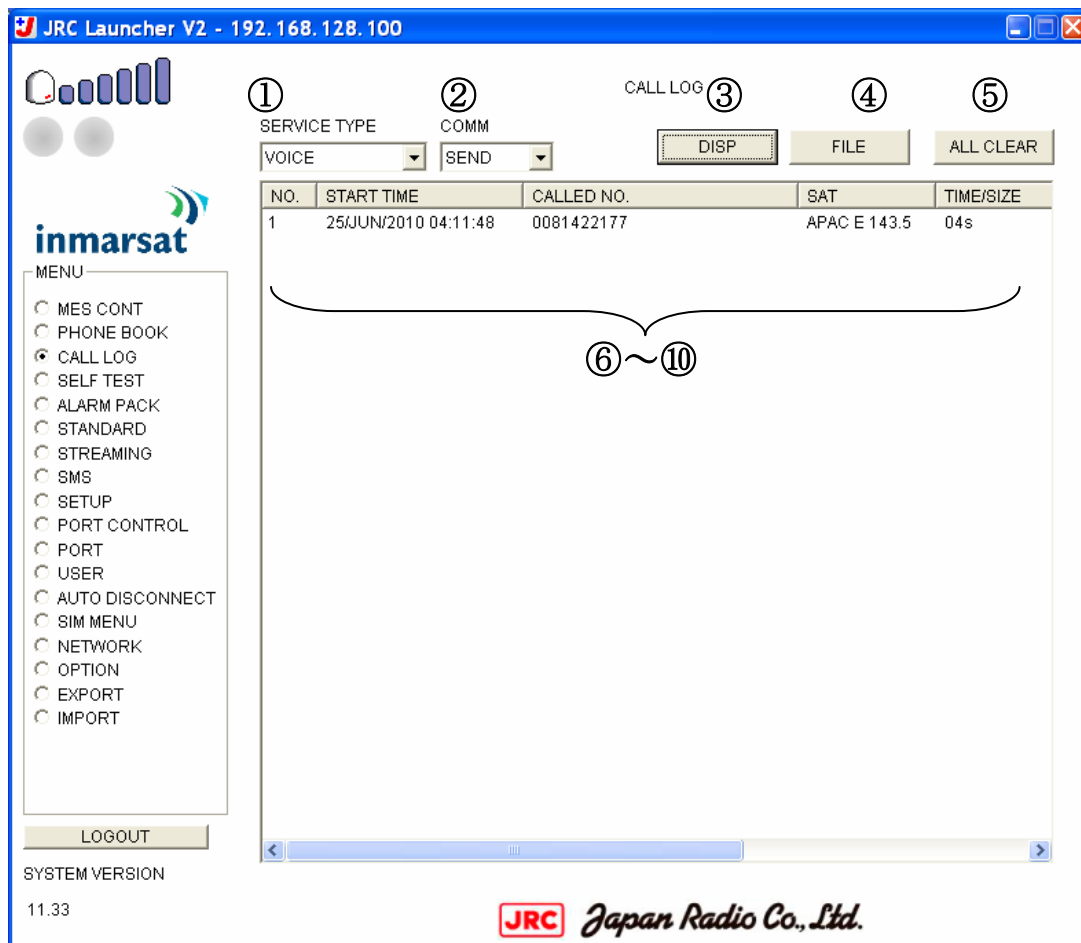


図 9 CALL LOG 画面 (1)

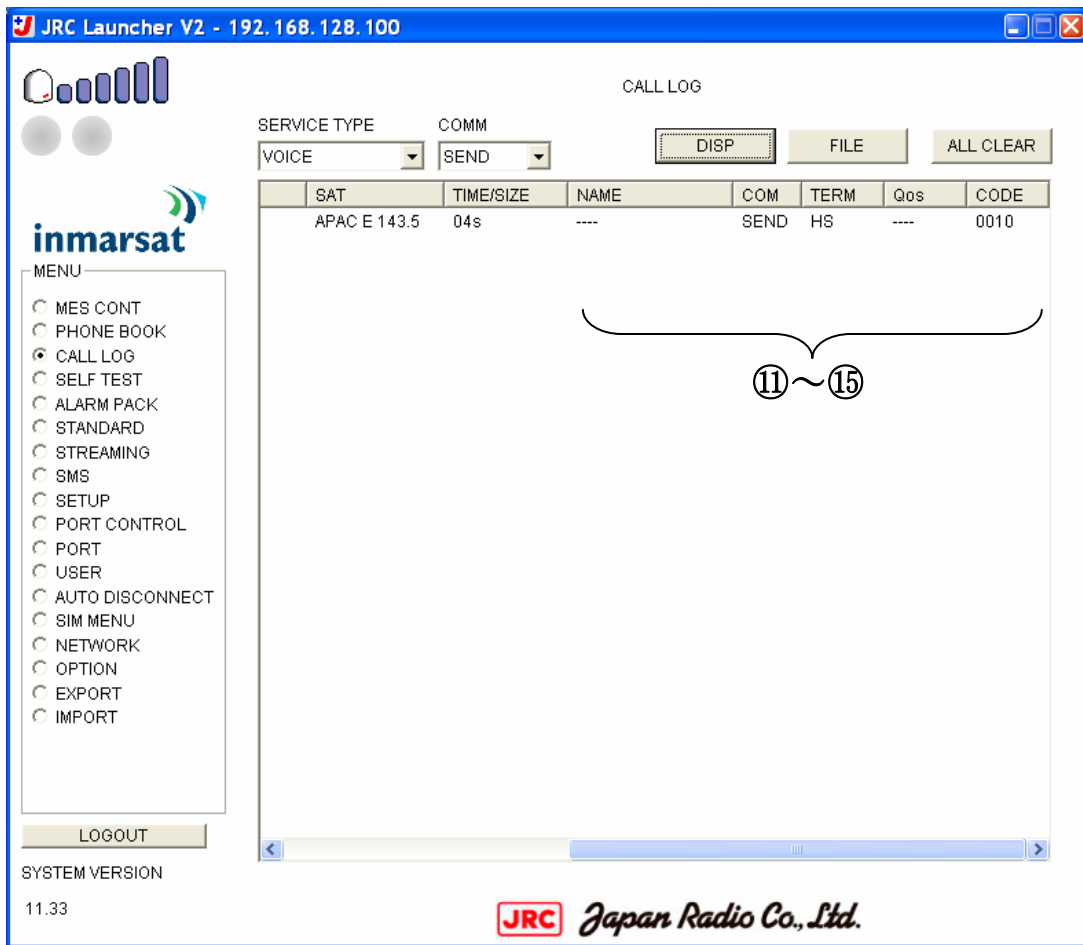


図 10 CALL LOG 画面 (2)

表 9 CALL LOG 画面項目

No	項目	説明
1	SERVICE TYPE	サービスタイプを選択します。 VOICE/FAX/STANDARD/STREAMING/SMS/UDI/RDI ※UDIとRDIはFB500のみです。
2	COMM	通信方向を選択します。 RECV/SEND/BOTH
3	DISP ボタン	SERVICE TYPE と COMM で指定したコールログを表示します。
4	FILE ボタン	表示しているコールログをファイルへ保存します。
5	ALL CLEAR ボタン	全てのコールログを削除します。 ※表示しているコールログ以外も全て削除されます。
6	NO.	コールログの通し番号です。新しいコールログほど番号が若くなります。
7	START TIME	通信を開始した時間です。
8	CALLED NO.	通信相手の番号です。着信時はない場合もあります。
9	SAT	通信に使用した衛星です。
10	TIME/SIZE	通信時間です。STANDARD 通信の場合は通信バイト数(送受合計)です。
11	NAME	通信を行ったユーザ名です。STANDARD/STREAMING の場合は通信を行った PC の IP アドレスです。
12	COM	通信方向です。RECV(着信)又は SEND(発信)です。
13	TERM	通信を行った端末又はポートです。
14	Qos	STREAMING の場合のみ通信レートを表示します。
15	CODE	コーズコード(HEX)です。

6.5. SELF TEST 画面

SELF TEST 画面では、ADE とハンドセットの接続状態を表示します。

接続できている場合は、“**success**”を表示します。

接続できていない場合は、“**failure detected**”を表示します。



図 11 SELF TEST 画面

6.6. ALARM PACK 画面

ALARM PACK 画面では、アラームのリスト及び各種バージョンとシリアル NO を表示します。
過去の履歴を参照する場合は、プルダウンメニューから参照する履歴を選択します。
表示内容をファイルへ保存することができます。

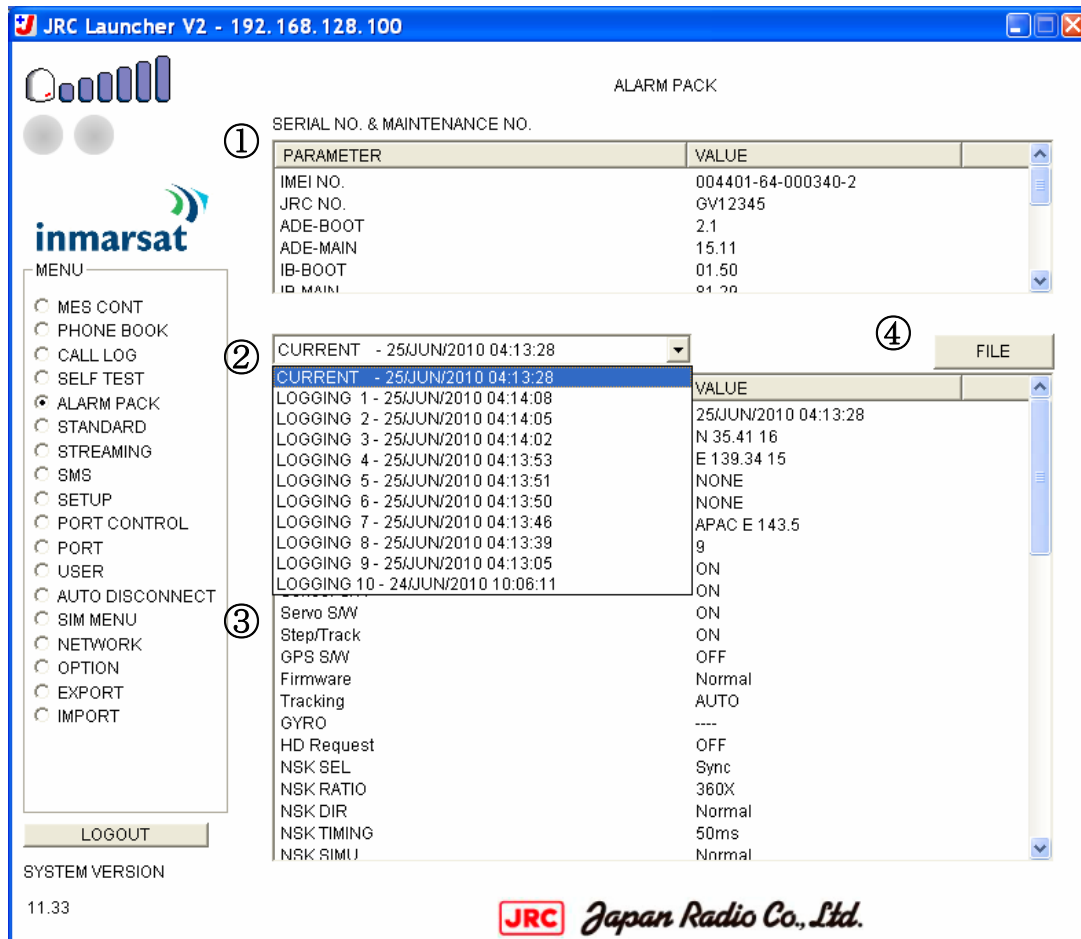


図 12 ALARM PACK 画面

表 10 ALARM PACK 画面項目

No	項目	説明
1	SERIAL NO. & MAINTENANCE NO.	IMEI 及び JRC NO.と各ソフトウェアのメンテナンス NO.を表示します。
2	プルダウンメニュー	CURRENT 及び保存している履歴とその日付を一覧表示します。 これを選択して、下記の一覧表示を切り替えられます。
3	アラームパック内容	プルダウンメニューで選択したアラームパックの内容を表示します。 CURRENT を選択した場合は、逐次値が変化します。 各項目の内容は、ハンドセット及び OIU-WEB と同等です。
4	FILE ボタン	全てのアラームパックの内容をファイルへ保存します。

6.7. STANDARD 画面

STANDARD 画面では、自端末及び他端末の STANDARD IP の接続/切断が行えます。

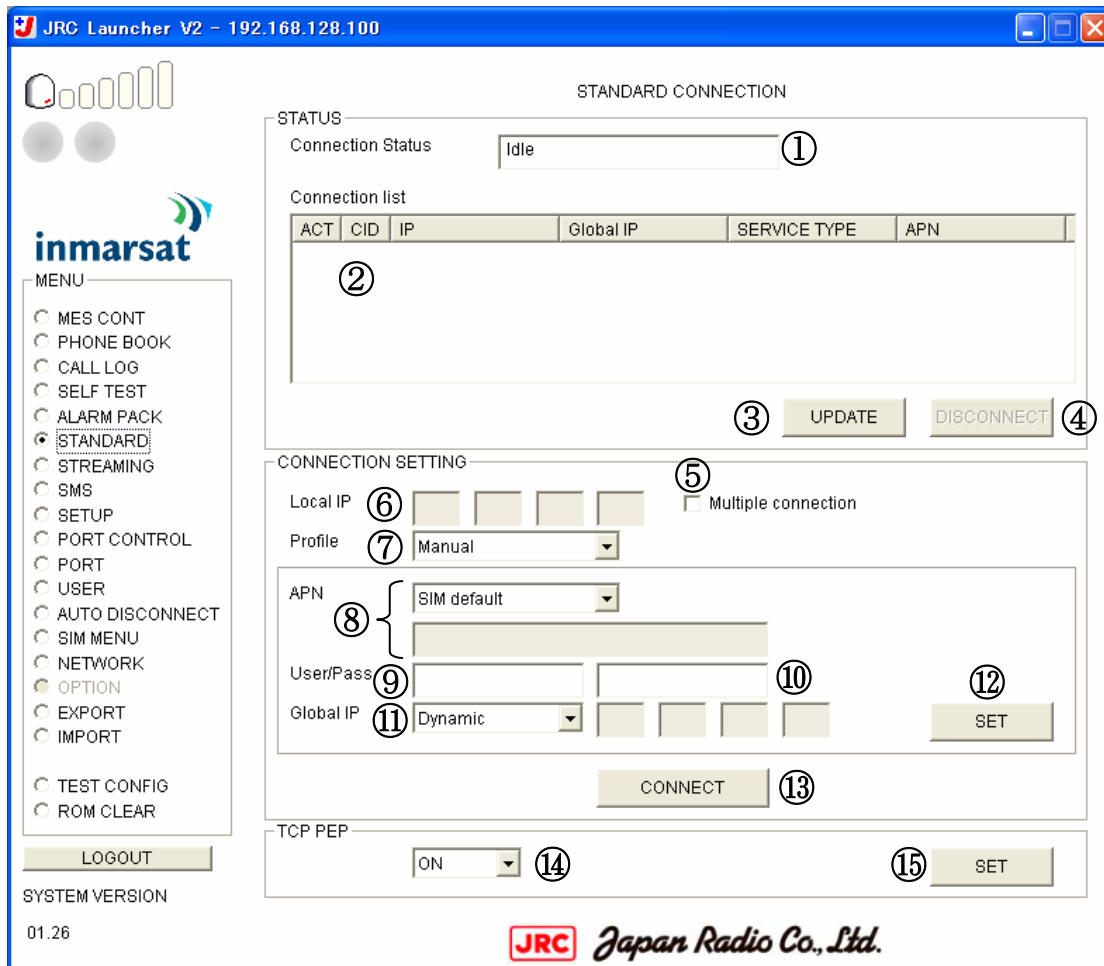


図 13 STANDARD 画面

6.7.1. 自端末の Standard 接続及び切断

注意: USER 画面の Profile を“OFF”と設定されたユーザは Standard IP 接続が行えません。

下記の手順で Standard IP の接続と切断ができます。

1. Multiple connection のチェックボックス(⑤)にレ点がないことを確認します。
2. Profile (⑦)より、通信設定を1つ選択します。Manual を選択すると通信設定を直接入力することができます。
USER 画面にて Profile の選択を制限されたユーザは設定の変更ができません。
3. CONNECT ボタン(⑬)を押し、Standard IP 接続をします。接続が成功すると Connection List(②)に接続情報が追加され、CONNECT ボタン(⑬)が DISCONNECT ボタン(⑬)に変わります。
4. Standard IP 接続を切断する場合は DISCONNECT ボタン(⑬)を押し、通信を切断します。切断が成功すると Connection List (②)から接続情報が削除され、DISCONNECT ボタン(⑬)が CONNECT ボタン(⑬)に変わります。

6.7.2. 他端末の Standard 接続及び切断 (Multiple connection)

注意: 他端末の接続/切断を行うには、USER 画面にて MULTI 設定を有効にする必要があります。

下記の手順で他端末の Standard IP の接続と切断ができます。

1. Multiple connection のチェックボックス(⑤)にレ点があることを確認します。
2. 他端末の IP アドレスを Local IP (⑥)に入力します。
3. Profile (⑦)より、通信設定を1つ選択します。Manual を選択すると通信設定を直接入力することができます。
USER 画面にて Profile の選択を制限されたユーザは設定の変更ができません。
4. CONNECT ボタン(⑬)を押し、Standard IP 接続をします。接続が成功すると Connection List(②)に接続情報が追加されます。
5. 他端末の Standard IP 接続を切断する場合は Connection List(②)より切断したい通信を選択し、DISCONNECT ボタン(④)を押します。切断が成功すると Connection List(②)から接続情報が削除されます。

表 11 STANDARD 画面項目(1/2)

No	項目	説明
1	Connection status	JRC Launcher V2 での操作状態を表示します。 idle(未接続)、Connecting(接続処理中)、Connected(接続)、 Disconnecting(切断処理中)を表示します。 また④のボタンで切断した場合、Disconnecting (Selected PC)となります。
2	Connection list	PS 通信中の自端末及び他端末を一覧表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ACT は、実際に接続されているかを表します。接続されている場合は、*を表示します。 ・ CID は、接続を行うために必要な ID で、1～11の数値が入ります。 ・ IP は、接続を行っている端末の IP アドレスです。自端末の場合は、This_PCと表示します。 ・ Global IP は、割り当てられたグローバル IP を表示します。 ・ SERVICE TYPE は、接続している種類(Standard か Streaming)を表示します。 ・ APN は、使用している APN の文字列を表示します。
3	UPDATE ボタン	Connection list を更新します。
4	DISCONNECT ボタン	Connection list で選択した通信を切断します。 但し、USER 画面の Multi 設定が有効のユーザに限ります。
5	Multiple connection チェックボックス	他端末の接続を行う場合は、チェックを入れます。 但し、USER 画面の Multi 設定が有効のユーザに限ります。
6	Local IP	接続する他端末の IP アドレスを入力します。 入力を行うには、Multiple Connect を有効にする必要があります。
7	Profile	接続に使用する Profile を Profile1-5 または Manual から選択します。 Profile 1-5 を選択すると、NETWORK 画面で設定した APN Profile を使用します。 Manual を選択すると、APN/Username/Password/Global IP を任意に入力できます。但し、USER 画面の Profile 設定が Manual のユーザに限ります。

表 12 STANDARD 画面項目(2/2)

No	項目	説明
8	APN	通信に使用する APN を SIM Default/Network assigned/User defined から選択します。 User defined を選択すると APN を任意に入力できます。 (必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
9	Username	ユーザ名を入力します。(必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
10	Password	パスワードを入力します。(必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
11	Global IP	Dynamic(動的割り当て)か Static(静的割り当て)を選択します。 Static を選択すると IP アドレスを任意に入力できます。 (必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
12	SET ボタン	APN/Uesr/Pass/Global IP の設定を保存します。
13	CONNECT ボタン	Standard IP 接続/切断を行います。 Multiple connection チェックボックスが OFF の場合、 自端末の接続状態によって、ボタン表示が CONNECT(未接続) / DISCONNECT(接続中)に変化します。 Multiple connection チェックボックスが ON の場合、 自端末の接続状態によらずボタン表示は CONNECT 固定となります。自端末の接続を切断したい場合は、Connection list で選択してから④の DISCONNECT ボタンを押してください。
14	PEP ON/OFF	TCP PEP 機能の ON/OFF を選択します。 ※ 設定を反映させるには、必ず 15 の PEP SET ボタンを押してください。
15	PEP SET ボタン	上記、TCP PEP 機能の ON/OFF 選択を設定・保存します。

6.8. STREAMING 画面

STREAMING 画面では、自端末及び他端末の STREAMING IP の接続/切断が行えます。

STREAMING 画面では、STANDARD 画面と比べて、STREAMING IP 用に通信レートの設定が増えています。

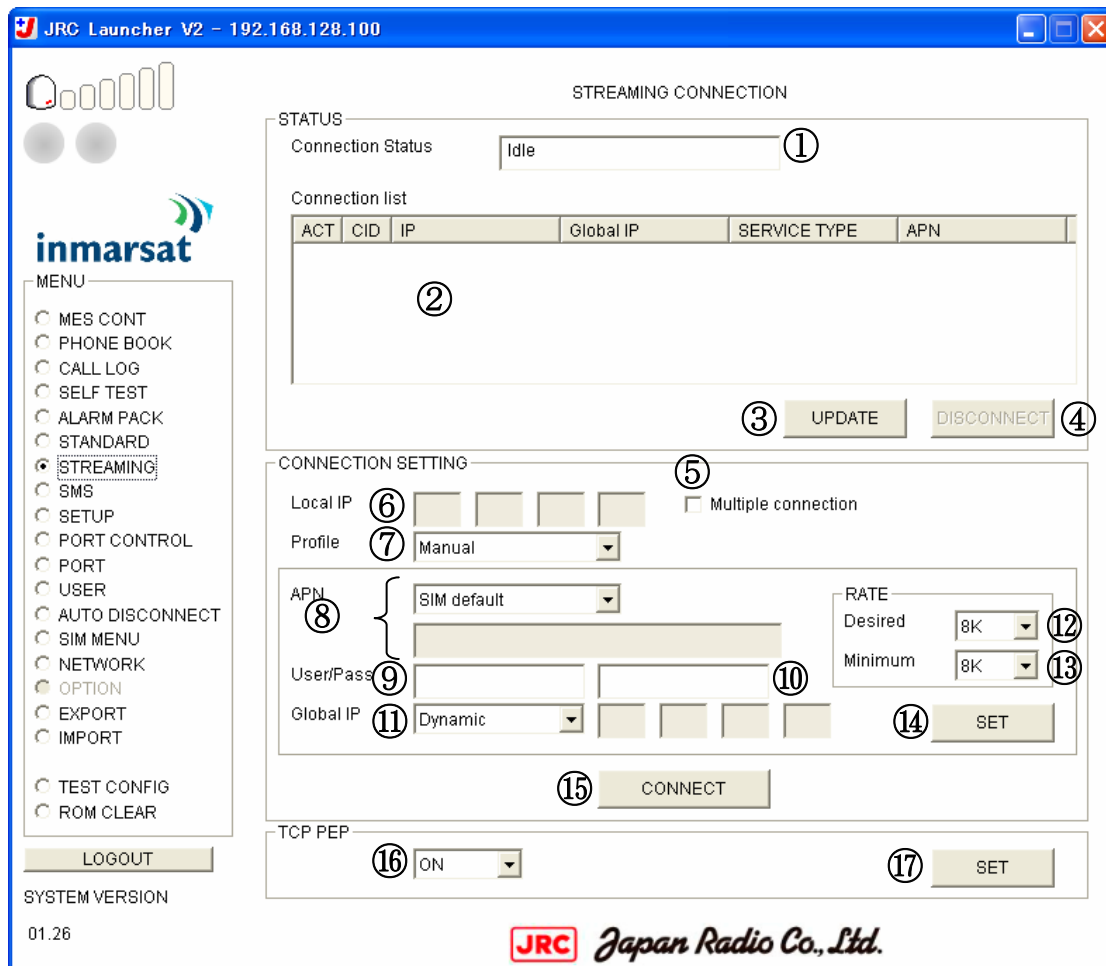


図 14 STREAMING 画面

表 13 STREAMING 画面項目(1/2)

No	項目	説明
1	Connection status	JRC Launcher V2 での操作状態を表示します。 idle(未接続)、Connecting(接続処理中)、Connected(接続)、 Disconnecting(切断処理中)を表示します。 また④のボタンで切断した場合、Disconnecting (Selected PC)となります。
2	Connection list	PS 通信中の自端末及び他端末を一覧表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ACT は、実際に接続されているかを表します。接続されている場合は、*を表示します。 ・ CID は、接続を行うために必要な ID で、1～11の数値が入ります。 ・ IP は、接続を行っている端末の IP アドレスです。自端末の場合は、This_PCと表示します。 ・ Global IP は、割り当てられたグローバル IP を表示します。 ・ SERVICE TYPE は、接続している種類(Standard か Streaming)を表示します。 APN は、使用している APN の文字列を表示します。
3	UPDATE ボタン	Connection list を更新します。
4	DISCONNECT ボタン	Connection list で選択した通信を切断します。 但し、USER 画面の Multi 設定が有効のユーザに限ります。
5	Multiple connection チェックボックス	他端末の接続を行う場合は、チェックを入れます。 但し、USER 画面の Multi 設定が有効のユーザに限ります。
6	Local IP	接続する他端末の IP アドレスを入力します。 Multiple Connect を有効にする必要がありますのみ有効になります。
7	Profile	接続に使用する Profile を Profile1-5 または Manual から選択します。 Profile 1-5 を選択すると、NETWORK 画面で設定した APN Profile を使用します。 Manual を選択すると、APN/Username/Password/Global IP を任意に入力できます。但し、USER 画面の Profile 設定が Manual のユーザに限ります。

表 14 STREAMING 画面項目 (2/2)

No	項目	説明
8	APN	通信に使用する APN を SIM Default/Network assigned/User defined から選択します。 User defined を選択すると APN を任意に入力できます。 (必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
9	Username	ユーザ名を入力します。(必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
10	Password	パスワードを入力します。(必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
11	Global IP	Dynamic(動的割り当て)か Static(静的割り当て)を選択します。 Static を選択すると IP アドレスを任意に入力できます。 (必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
12	Desired	希望する通信レートを指定します。8K~256K の範囲で指定できます。 但し、256K は FB500 のみ選択可能です。
13	Minimum	希望する通信レートを指定します。8K~256K の範囲で指定できます。 但し、256K は FB500 のみ選択可能です。 Desired 以下である必要があります。
14	SET ボタン	APN/Uesr/Pass/Global IP の設定を保存します。
15	CONNECT ボタン	Streaming IP 接続/切断を行います。 Multiple connection チェックボックスが OFF の場合、 自端末の接続状態によって、ボタン表示が CONNECT(未接続) / DISCONNECT(接続中)に変化します。 Multiple connection チェックボックスが ON の場合、 自端末の接続状態によらずボタン表示は CONNECT 固定となります。自端末の接続を切断したい場合は、Connection list で選択してから④の DISCONNECT ボタンを押してください。
16	PEP ON/OFF	TCP PEP 機能の ON/OFF を選択します。 ※ 設定を反映させるには、必ず 17 の PEP SET ボタンを押してください。
17	PEP SET ボタン	上記、TCP PEP 機能の ON/OFF 選択を設定・保存します。

6.9. SMS 画面

SMS 画面では、SMS の送受信及び編集を行えます。また SMS 送受信の為の設定も行えます。

SMS 画面は、プルダウンメニューによる切替で、以下の5つに切替られます。

- New Message (新規メッセージ作成)
- Inbox (受信メッセージ)
- Sent (送信済みメッセージ)
- Draft (未送信 (草稿) メッセージ)
- Setting & Information (設定と情報)

以降で、それぞれの内容を説明します。

6.9.1. New Message

新規メッセージを作成します。

新規メッセージを入力し、宛先を指定してメッセージを送信します。宛先は直接入力の外、電話帳を参照できます。

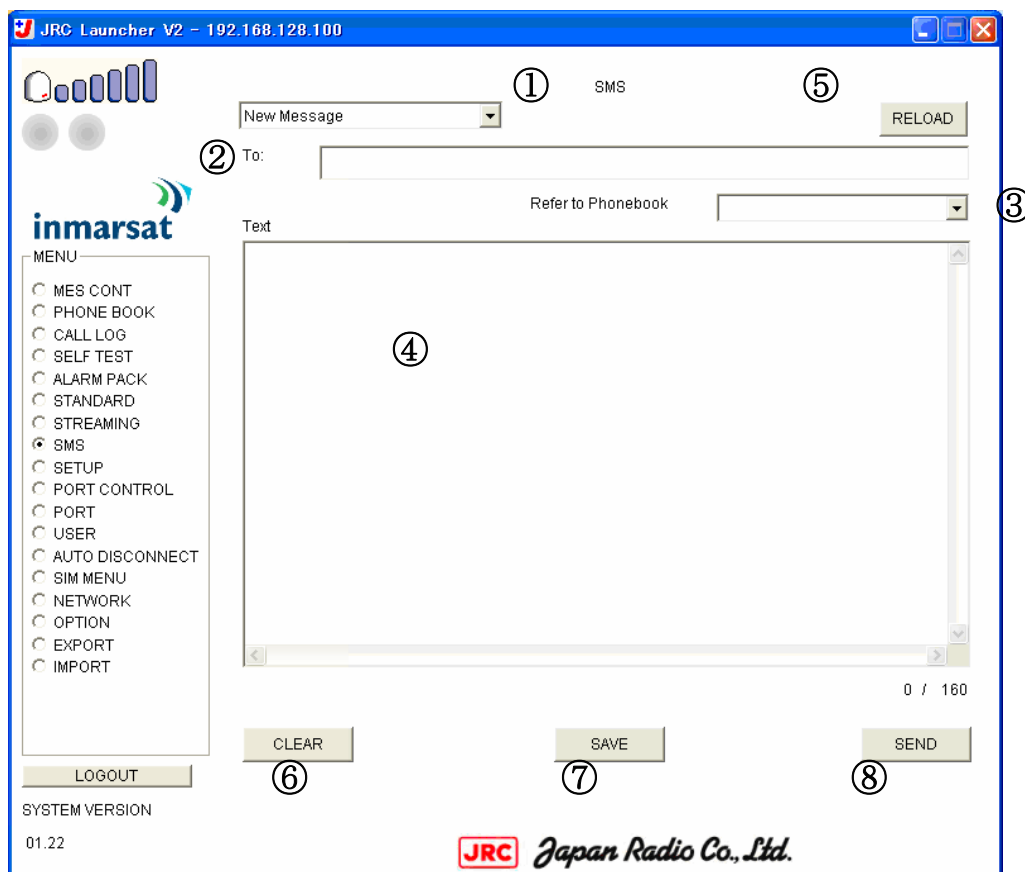


図 15 SMS-New Message 画面

表 15 SMS-New Message 画面項目

No	項目	説明
1	プルダウンメニュー	画面の切替を行います。
2	To	宛先の電話番号を入力します。
3	Refer to Phonebook	電話帳に登録された ADDRESS がプルダウンメニューに一覧されます。 そこから選択した電話帳の番号が To:欄に入力されます。
4	Textと入力文字数	送信するメッセージを入力します。 入力できるメッセージの文字数は右下に XXX/160 という形で表示されます。 入力できる最大の文字数は、GSM7 のとき 160 文字、Unicode のとき 70 文字です。署名(表 19 参照)を設定している場合は署名の文字数分だけ少なくなります。
5	RELOAD ボタン	SIM カードから SMS を読み直します。 SMS メニューを選択した時、送信等の操作を行った時は自動的に読み込みますが、他の JRC Launcher やハンドセット、WEB 等で操作された場合は最新の表示を行う為には読み直しが必要です。
6	CLEAR ボタン	To と Text の内容を全消去します。
7	SAVE ボタン	書きかけの内容を Draft へ保存します。
8	SEND ボタン	Text の内容を To で指定した宛先へ送信します。 送信したメッセージは、Sent へ保存されます。

6.9.2. Inbox

Inbox では、受信したメッセージを表示します。

受信したメッセージに返信したり、他へ転送したり、削除することができます。

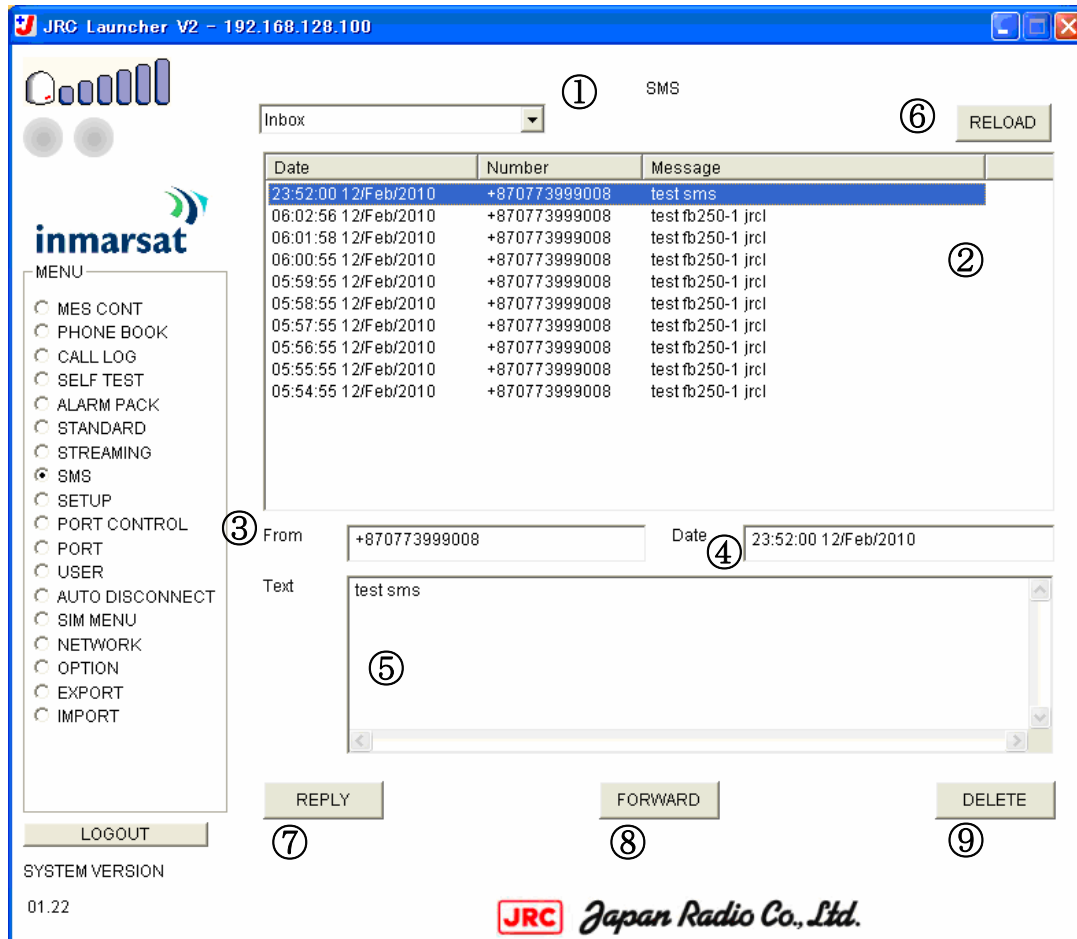


図 16 SMS-Inbox 画面

表 16 SMS-Inbox 画面項目

No	項目	説明
1	プルダウンメニュー	画面の切替を行います。
2	メッセージ一覧	受信したメッセージを一覧表示します。 一覧からメッセージを選択すると、その内容を以下に表示します。
3	From	選択した受信メッセージの送信元を表示します。
4	Date	選択した受信メッセージの受信日時を表示します。
5	Text	選択した受信メッセージの内容を表示します。
6	RELOAD ボタン	SIM カードから SMS を読み直します。 SMS メニューを選択した時、送信等の操作を行った時は自動的に読み込みますが、他の JRC Launcher やハンドセット、WEB 等で操作された場合は最新の表示を行う為には読み直しが必要です。
7	REPLY ボタン	選択した受信メッセージに返信します。 New Message 画面へ遷移します。 New Message 画面の To に選択したメッセージの From がコピーされます。
8	FORWARD ボタン	選択した受信メッセージを転送します。 New Message 画面へ遷移します。 New Message 画面の Text に選択したメッセージの Text がコピーされます。
9	DELETE ボタン	選択した受信メッセージを削除します。

6.9.3. Sent

Sent では、送信したメッセージを表示します。

送信したメッセージを再送信したり、他へ転送したり、削除することができます。

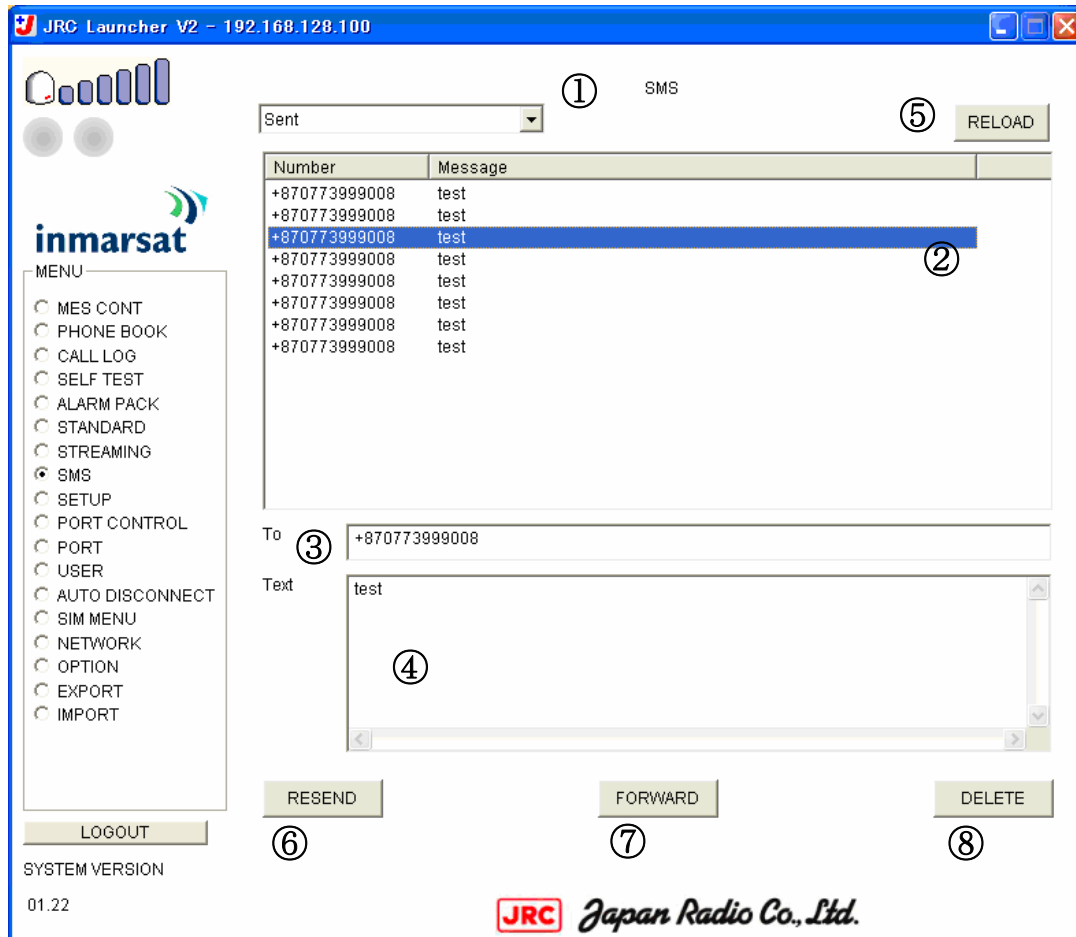


図 17 SMS-Sent 画面

表 17 SMS-Sent 画面項目

No	項目	説明
1	プルダウンメニュー	画面の切替を行います。
2	メッセージ一覧	送信したメッセージを一覧表示します。 一覧からメッセージを選択すると、その内容を以下に表示します。
3	To	選択した送信メッセージの宛先を表示します。
4	Text	選択した送信メッセージの内容を表示します。
5	RELOAD ボタン	SIM カードから SMS を読み直します。 SMS メニューを選択した時、送信等の操作を行った時は自動的に読み込みますが、他の JRC Launcher やハンドセット、WEB 等で操作された場合は最新の表示を行う為には読み直しが必要です。
6	RESEND ボタン	選択した送信メッセージを再送信します。 New Message 画面へ遷移します。 New Message 画面の To と Text に選択したメッセージのそれらがコピーされます。
7	FORWARD ボタン	選択した送信メッセージを転送します。 New Message 画面へ遷移します。 New Message 画面の Text に選択したメッセージの Text がコピーされます。
8	DELETE ボタン	選択した送信メッセージを削除します。

6.9.4. Draft

Draft では、未送信のメッセージを表示します。

未送信のメッセージを編集したり、他へ転送したり、削除することができます。

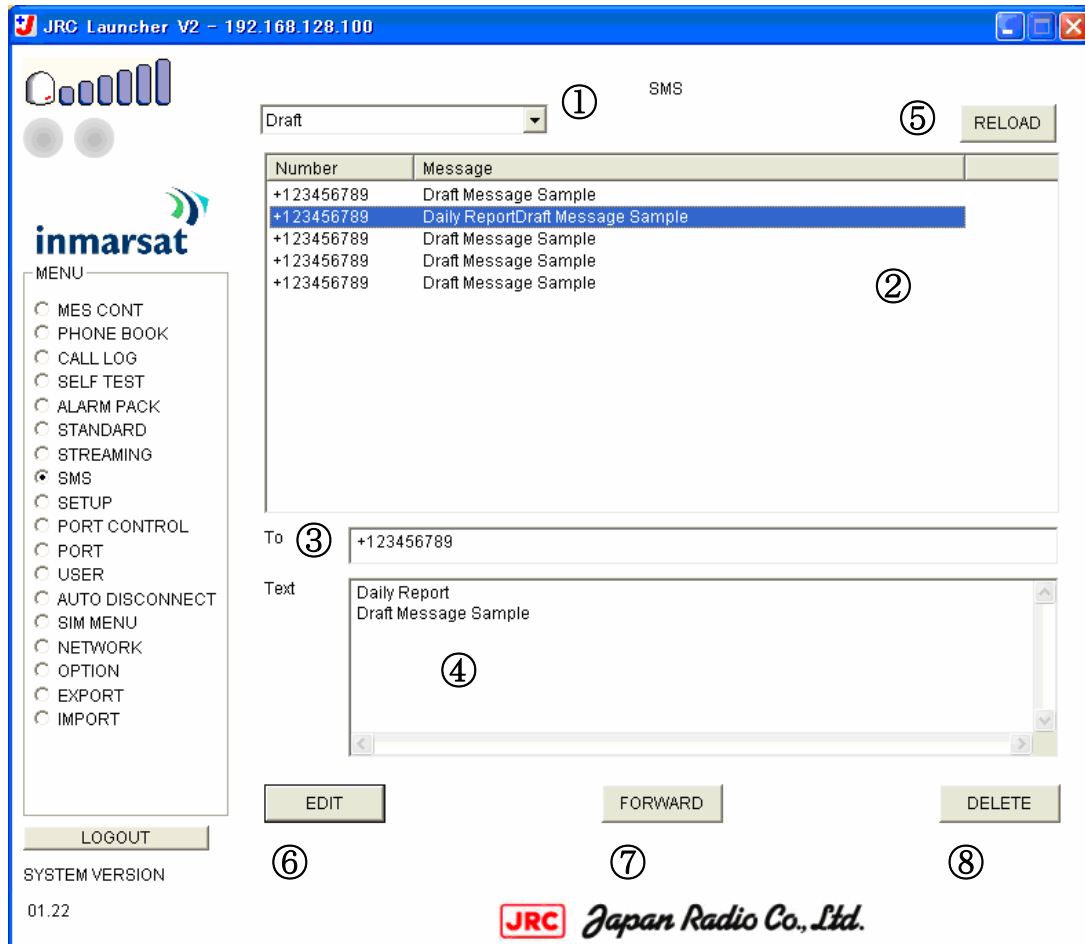


図 18 SMS-Draft 画面

表 18 SMS-Draft 画面項目

No	項目	説明
1	プルダウンメニュー	画面の切替を行います。
2	メッセージ一覧	未送信のメッセージを一覧表示します。 一覧からメッセージを選択すると、その内容を以下に表示します。
3	To	選択した未送信のメッセージの宛先を表示します。
4	Text	選択した未送信のメッセージの内容を表示します。
5	RELOAD ボタン	SIM カードから SMS を読み直します。 SMS メニューを選択した時、送信等の操作を行った時は自動的に読み込みますが、他の JRC Launcher やハンドセット、WEB 等で操作された場合は最新の表示を行う為には読み直しが必要です。
6	EDIT ボタン	選択した未送信のメッセージを編集します。 New Message 画面へ遷移します。 New Message 画面の To と Text に選択したメッセージのそれらがコピーされます。
7	FORWARD ボタン	選択した未送信のメッセージを転送します。 New Message 画面へ遷移します。 New Message 画面の Text に選択したメッセージの Text がコピーされます。
8	DELETE ボタン	選択した未送信のメッセージを削除します。

6.9.5. Setting & Information

Setting & Information では、SMS の各種設定とメッセージの全削除、SMS の容量表示を行います。

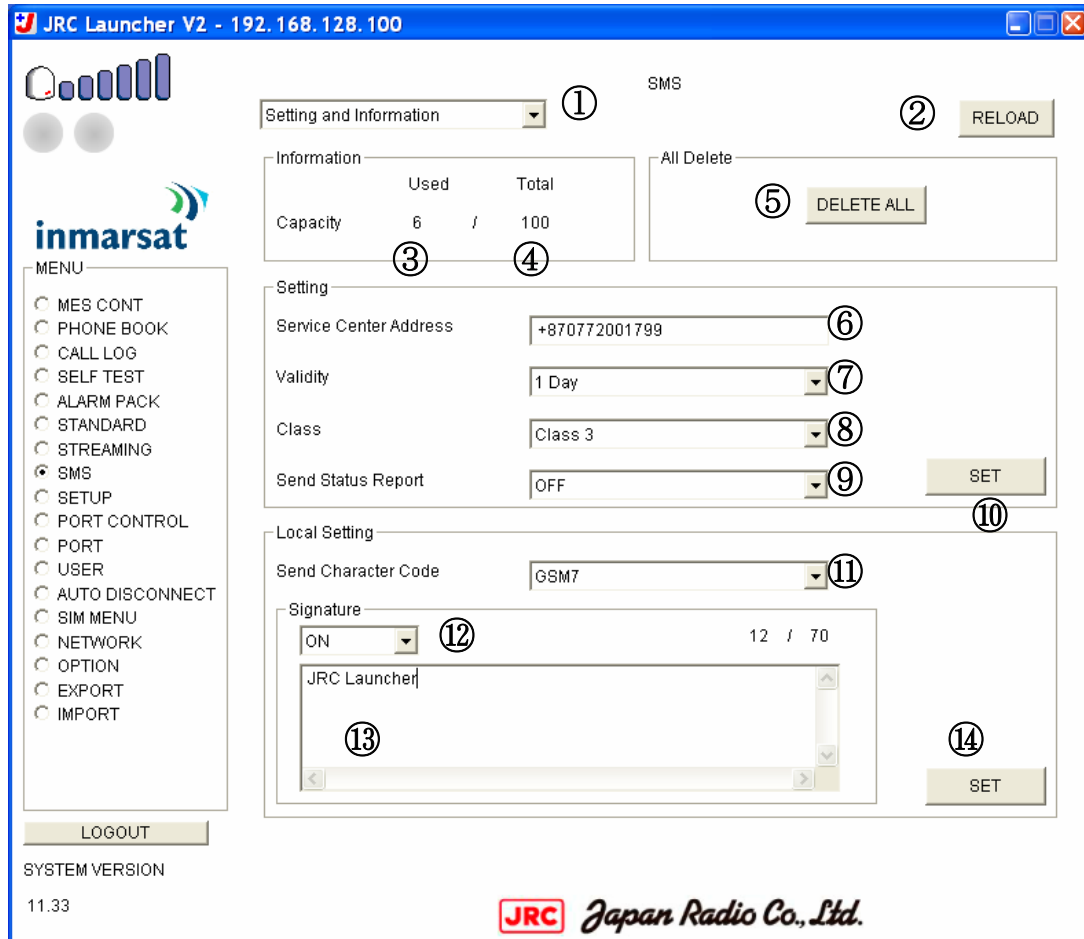


図 19 SMS-Setting & Information 画面

表 19 SMS-Setting & Information 画面項目

No	項目	説明
1	プルダウンメニュー	画面の切替を行います。
2	RELOAD ボタン	SIM カードから SMS を読み直します。 SMS メニューを選択した時、送信等の操作を行った時は自動的に読み込みますが、他の JRC Launcher やハンドセット、WEB 等で操作された場合は最新の表示を行う為には読み直しが必要です。
3	Capacity-Used	保存しているメッセージの総数を表示します。 Inbox と Sent と Draft のメッセージの合計です。
4	Capacity-Total	SIM カードに保存できるメッセージの最大数を表示します。 Used がこの数に達すると新規作成も受信もできなくなります。
5	DELETE ALL ボタン	全てのメッセージを削除します。
6	Service Centre Address	サービスセンターアドレスを設定します。
7	Validity	サービスセンターでの保存期限を設定します。
8	Class	送信メッセージの受信側での保存場所の指定を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・Class 0 表示のみ(保存不要) ・Class 1 本体に保存を要求 ・Class 2 SIM に保存を要求 ・Class 3 相手の設定に任せる ・No Class 指定なし ※JUE-250/500 では送信側の設定に関わらず受信メッセージは SIM へ保存します。
9	Send Status Report	送信メッセージの伝達通知の有無指定を設定します。
10	Setting SET ボタン	Service Centre Address から Send Status Report までの設定を、保存します。
11	Send Charactor Code	送信する SMS のキャラクタコードを GSM7 と Unicode から選択します。
12	Signature-ON/OFF	署名の使用有無を設定します。 署名は、送信メッセージの最後に付与します。 署名を使用するとその文字数分だけ本文で使用できる文字数が減ります。
13	Signature-Text	署名の文字列を設定します。
14	Signature SET ボタン	署名設定を保存します。

6.10. SETUP 画面

SETUP 画面では、装置の設定及び衛星追尾方式の設定を行います。

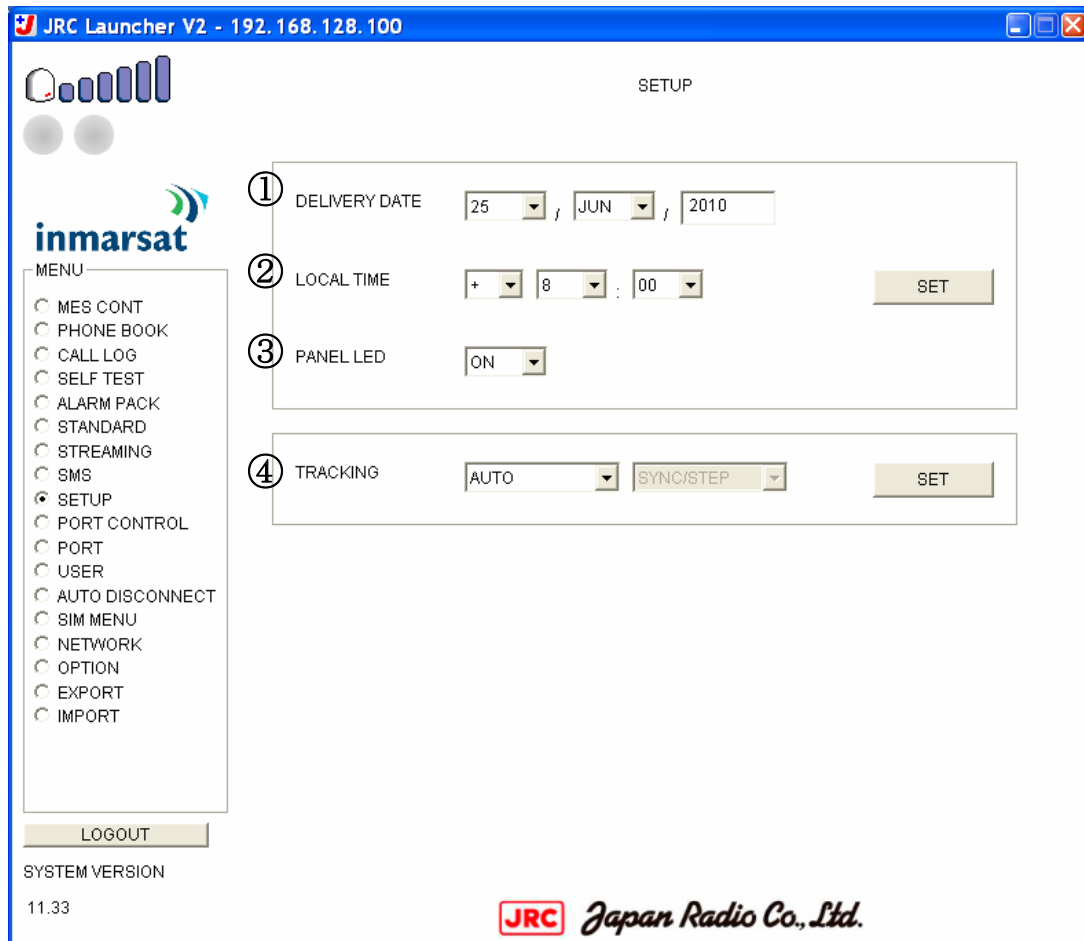


図 20 SETUP 画面

表 20 SETUP 画面項目

No	項目	説明
1	DELEVERY DATE	運用開始日を設定します。
2	LOCAL TIME	現在値の UTC からの時差を設定します。
3	PANEL LED	本体パネル LED の表示有無を設定します。 OFF にすると起動時以外は点灯しません。
4	TRACKING	追尾方式を設定します。 まず、AUTO(電波追尾)か GYRO(使用)を選択します。 GYRO を選択した場合は、GYRO の接続方式を以下から選択します。 ・SYNC/STEP ・NMEA(4.8K) ・NMEA(38.4K) ・LAN ※LAN は OIU 接続時のみ選択できます。

6.11. PORT CONTROL 画面

PORT CONTROL 画面では、本体に接続されたアナログ電話端末ポートの設定を行います。

CALL REQUEST と CALL RECEPTION の項目は、FB500 又は SYS01.24 以降の FB250 で使用できます。

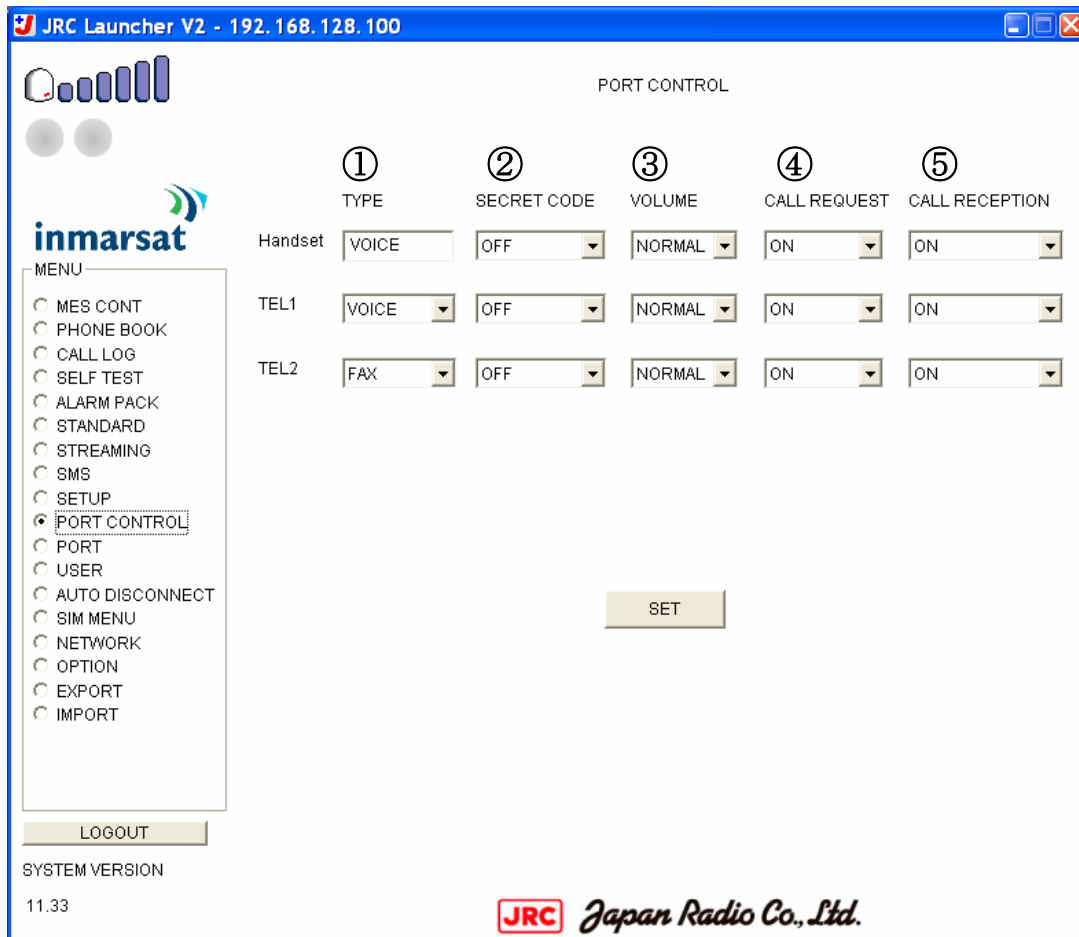


図 21 PORT CONTROL 画面

表 21 PORT CONTROL 画面項目

No	項目	説明
1	TYPE	TEL1/2 を VOICE/FAX/BOTH のどれで使用するかを設定します。 BOTH を設定すると、どちらの着信でも受け取れます。その場合、発信は VOICE になりますので、FAX での発信が必要な場合は、相手先番号の前に * * をつけて発信してください。 ハンドセットは VOICE 固定です。
2	SECRET CODE	ハンドセット、TEL1/2 でのシークレットコードの使用有無を設定します。 ハンドセットのシークレットコードを ON にすると、電話発信以外の画面参照もシークレットコードを入力しないとできなくなります。
3	VOLUME	ハンドセット、TEL1/2 のボリュームを設定します。
4	CALL REQUEST	ハンドセット、TEL1/2 の発信許可/不許可を設定します。
5	CALL RECEPTION	ハンドセット、TEL1/2 の着信許可/不許可/Ring が鳴動するまでの時間を設定します。 Ring が鳴動するまでの時間は、5 秒、10 秒、20 秒から選択できます。

6.12. PORT 画面

PORT 画面では、ISDN の MSN、ハンドセット、本体 IP アドレスの設定を行います。

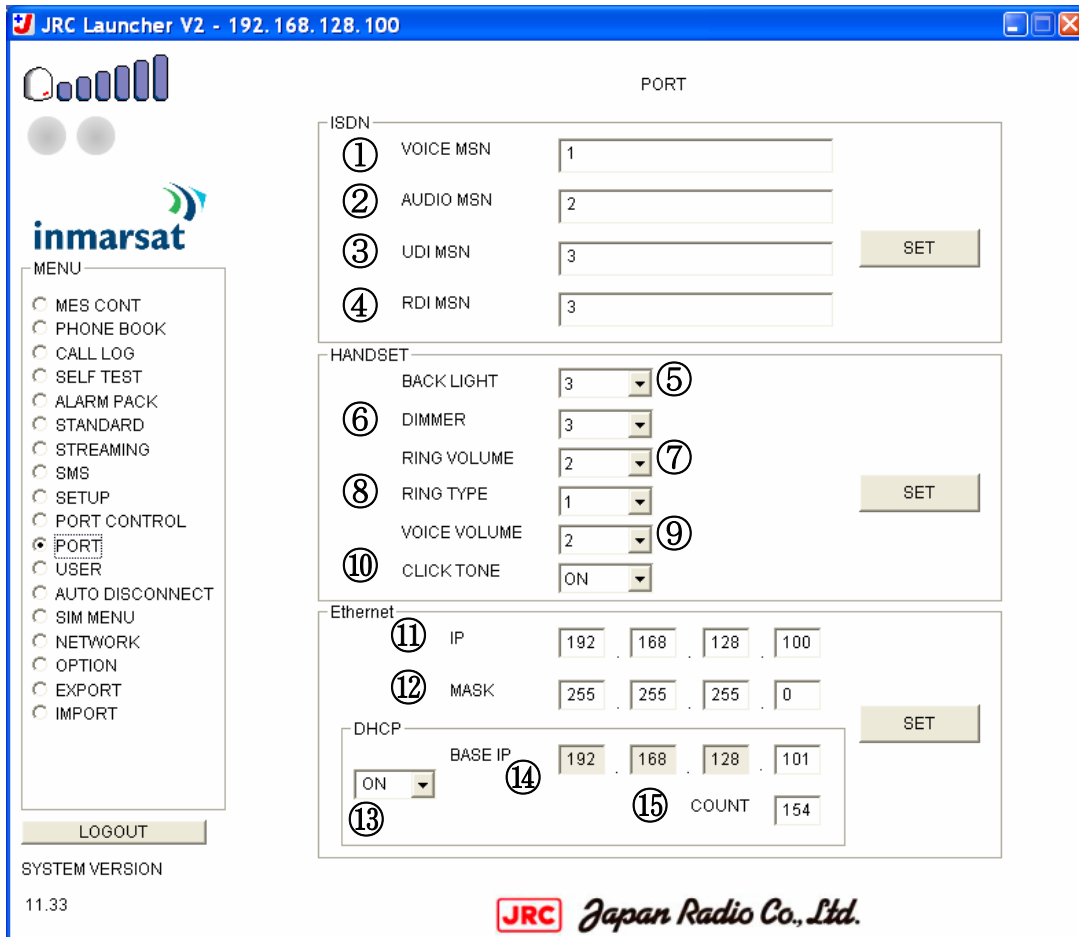


図 22 PORT 画面

表 22 PORT 画面項目

No	項目	説明
1	VOICE MSN	ISDN の VOICE MSN 15 桁までの数値を設定する。
2	AUDIO MSN	ISDN の AUDIO MSN 15 桁までの数値を設定する。
3	UDI MSN	ISDN の UDI MSN 15 桁までの数値を設定する。 FB500 のみ設定可能
4	RDI MSN	ISDN の RDI MSN 15 桁までの数値を設定する。 FB500 のみ設定可能
5	BACK LIGHT	ハンドセットの LCD バックライトを OFF 又は 1~4 段階で設定する。
6	DIMMER	ハンドセットの LED デイマーを OFF 又は 1~4 段階で設定する。
7	RING VOLUME	Ring のボリュームを 1~3 段階で設定する。
8	RING TYPE	Ring の種類を 1~6 種類から選択する。
9	VOICE VOLUME	音声のボリュームを 1~3 段階で設定する。
10	CLICK TONE	キークリック音の有無を設定する。
11	IP	本体 IP を設定する。 設定後は、設定を反映する為に再起動が必要
12	MASK	本体のサブネットマスクを設定する。 設定後は、設定を反映する為に再起動が必要
13	DHCP	DHCP の有効 (ON) / 無効 (OFF) を選択する。
14	BASE IP	DHCP でリースする IP 範囲の先頭を設定する。
15	COUNT	DHCP でリースする IP の個数を設定する。

6.13. USER 画面

USER 画面では、本体のユーザを登録/編集/削除します。

JRC Launcher V2 のログインに必要となるユーザの設定です。

ハンドセットのターミナルロック、OIU-WEB のログイン、シークレットコード発信が必要です。

また、USER 画面にて、Standard IP 及び Streaming IP 接続の接続規制と、他端末の通信制御の可否をユーザごとに設定できます。

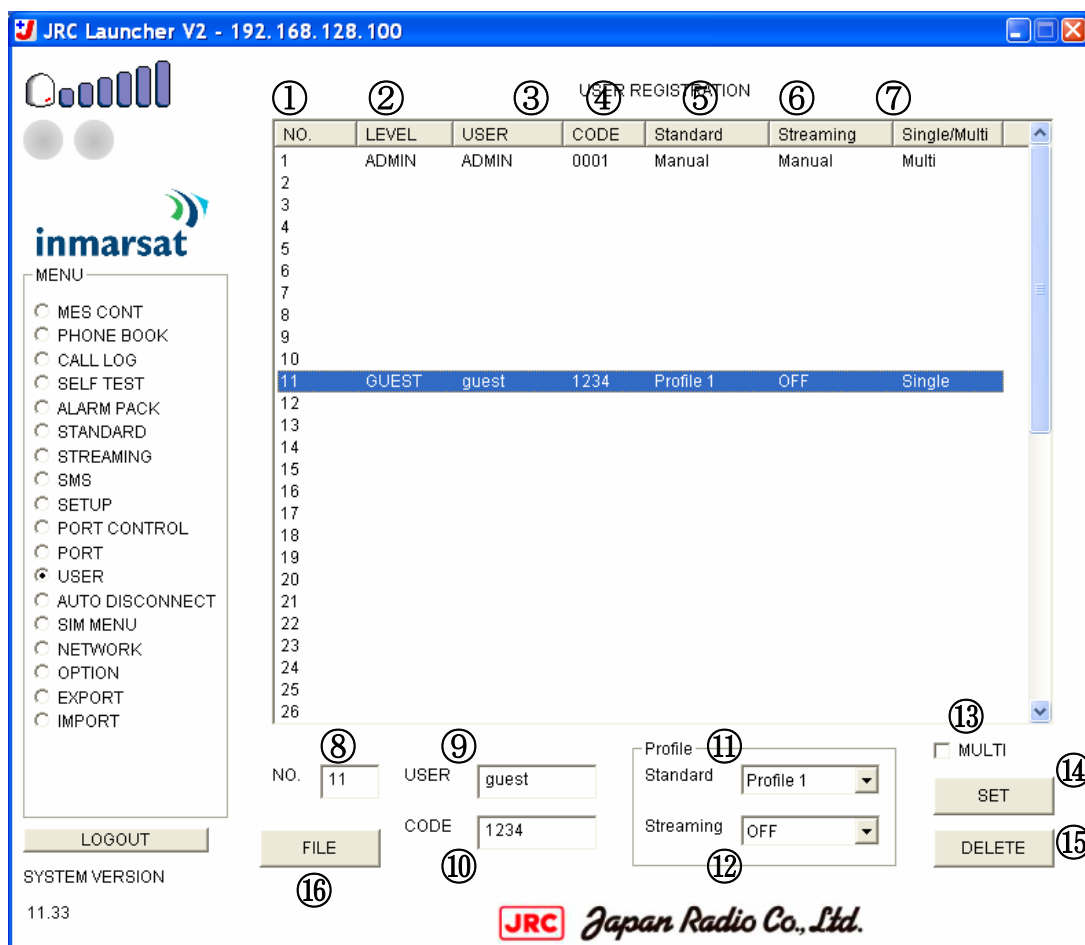


図 23 USER 画面

表 23 USER 画面項目 (1/2)

No	項目	説明
1	一覧-NO.	ユーザの通し番号です。 NO.1 のユーザは、管理者となります。 NO.の変更はできません。
2	一覧-LEVEL	ユーザ権限です。 この権限は、装置の設定権限で、ADMIN ユーザのみ左メニューの SETUP 以降を操作できます。 NO.1 のユーザは、ADMIN(管理者)で、その他は全て GUEST となります。 LEVEL の変更はできません。
3	一覧-USER	ユーザ名です。 最大 10 文字までで任意の設定できます。 JRC Launcher V2 や OIU-WEB のログインに必要です。 またシークレットコード発信を行った場合、コールログには、ユーザ名が保存されます。
4	一覧-CODE	ユーザ名に対応するパスワード(シークレットコード)です。 JRC Launcher V2 や OIU-WEB のログイン及びシークレット発信、ターミナルロック解除に必要です。
5	Standard 通信設定	Standard IP 接続に用いる通信設定です。
6	Streaming 通信設定	Streaming IP 接続に用いる通信設定です。
7	Single/Multi	他端末の通信を制御できるかの設定です。
8	NO.	一覧で選択した NO.を表示します。 変更できません。
9	USER	ユーザ名を入力します。
10	CODE	シークレットコードを入力します。 但し、0001~8999 までの 4 桁の数値でなければなりません。 また他のユーザと同じシークレットコードは選べません。

表 24 USER 画面項目 (2/2)

No	項目	説明
11	Standard profile	<p>Standard IP の通信設定を OFF/Profile 1-5/Manual から選択します。</p> <p>OFF: ユーザは Standard IP 通信を行えません。</p> <p>Profile 1-5: ユーザは指定された Profile の通信設定で Standard IP 接続が行えます。Profile の通信設定は NETWORK 画面の APN Profile より行えます。</p> <p>Manual: ユーザは通信設定を自由に設定でき、また任意の Profile を選択することもできます。</p>
12	Streaming profile	<p>Streaming IP の通信設定を OFF/Profile 1-5/Manual から選択します。</p> <p>OFF: ユーザは Streaming IP 通信を行えません。</p> <p>Profile 1-5: ユーザは指定された Profile の通信設定で Streaming IP 接続が行えます。Profile の通信設定は NETWORK 画面の APN Profile より行えます。</p> <p>Manual: ユーザは通信設定を自由に設定でき、また任意の Profile を選択することもできます。</p>
13	MULTI チェックボックス	<p>他端末の通信制御を許可する場合はチェックを入れます。</p> <p>他端末の通信制御を禁止する場合はチェックを外します。</p>
14	SET ボタン	<p>ユーザの全設定項目を登録します。</p>
15	DELETE ボタン	<p>選択した NO.のユーザを削除します。</p> <p>NO.1 のユーザは削除できません。</p>
16	FILE ボタン	<p>一覧の内容をファイルへ保存します。</p> <p>これは閲覧用データですので IMPORT はできません。</p> <p>IMPORT を行う場合は、EXPORT 画面より、設定を EXPORT してください。(6.18EXPORT 画面を参照)</p>

6.14. AUTO DISCONNECT 画面

AUTO DISCONNECT 画面では、通信の自動切断時間を設定します。

設定①～⑤では、0 を設定した場合は、自動切断しません。

設定⑥では、OFF を設定した場合は、自動切断しません。

自動切断時間の最大は 240 分です。

<注意>

- Standard IP 回線の接続と切断のみを行う場合も、SIM カードのプロバイダによっては、課金対象となる可能性があります。
- 本機能では、Always Activate 機能にて PS 接続された回線は切断しません。Always Activate 機能で PS 接続された回線は、本機能に関係なく回線を維持します。

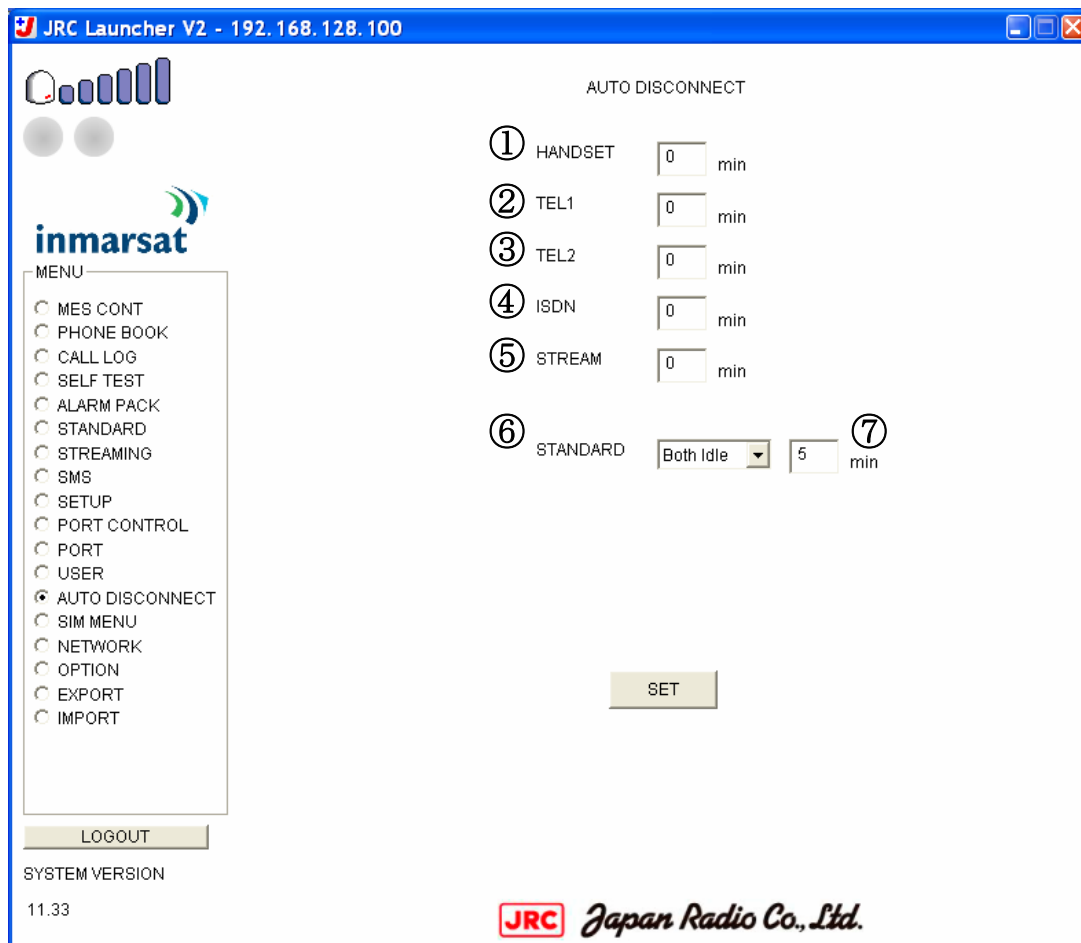


図 24 AUTO DISCONNECT 画面

表 25AUTO DISCONNECT 画面項目

No	項目	説明
1	HANDSET	ハンドセットでの通話の自動切断時間を設定します。
2	TEL1	TEL1 での通話/FAX の自動切断時間を設定します。
3	TEL2	TEL2 での通話/FAX の自動切断時間を設定します。
4	ISDN	ISDN での通話/通信の自動切断時間を設定します。
5	STREAMING	STREAMING IP 接続の自動切断時間を設定します。
6	STANDARD	STANDARD IP 接続の監視種別を選択します。 OFF: 監視なし(自動切断をしません。) AnyTime: 接続時間 Send Idle: 送信アイドル時間(送信パケットのない時間) Recv Idle: 受信アイドル時間(受信パケットのない時間) Both Idle: 送受信アイドル時間(送受信パケットのない時間)
7	STANDARD 自動切断時間	6 で設定した監視種別の時間が何分経過したら切断するかを設定します。 監視種別が OFF の場合は設定不要です。

6.15. SIM MENU 画面

SIM MENU 画面では、SIM PIN 状態の表示と PIN 変更及び PUK 復旧、PIN 入力状態の設定を行います。

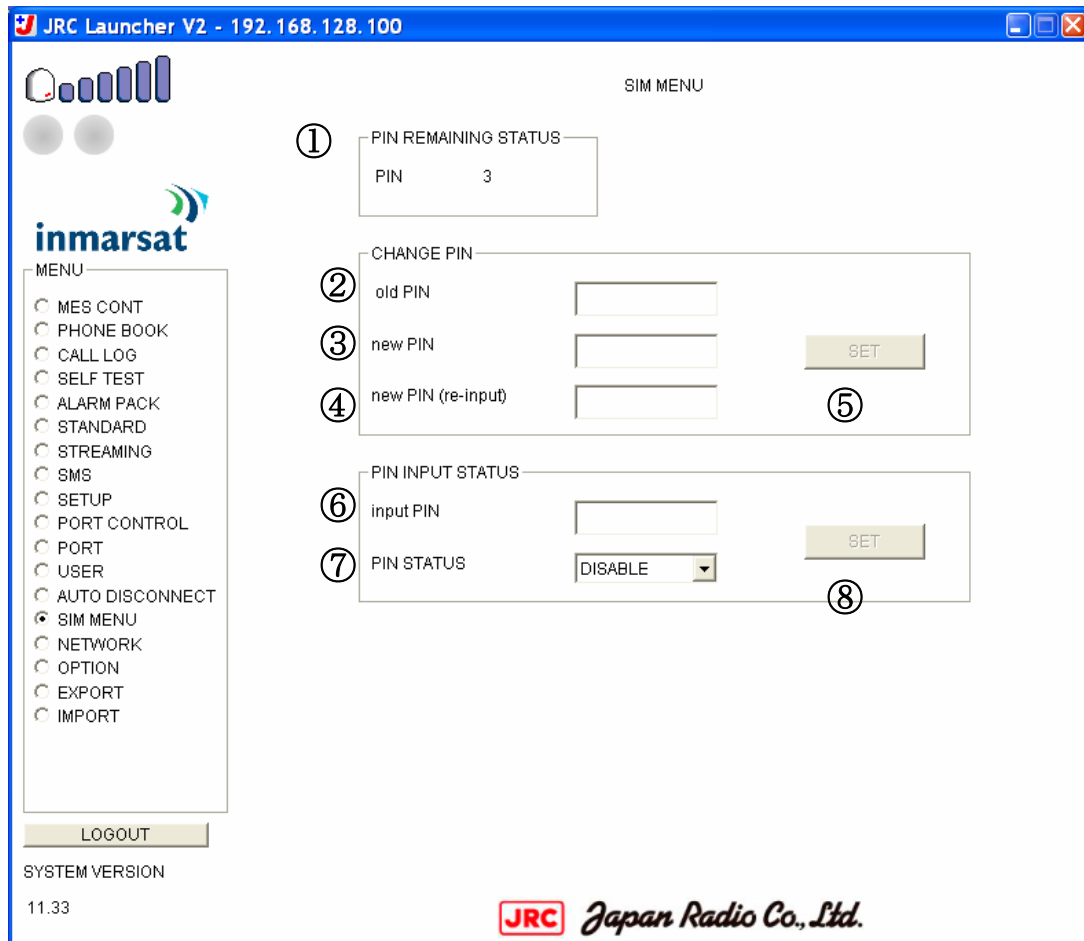


図 25 SIM MENU

表 26 SIM MENU 画面項目

No	項目	説明
1	PIN REMAINING STATUS	PIN の入力状態と入力可能残回数を表示します。 通常は、PIN 3 です。 PIN の入力に 3 回失敗すると、PUK 10 になります。
2	CHANGE PIN- old PIN(又は PUK)	PIN 変更の為に現在の PIN を入力します。 PIN REMAINING STATUS が PUK になっている場合は、表示が PUK になります。この場合は、PUK を入力します。
3	CHANGE PIN- new PIN	変更後に PIN を入力します。 PUK 入力状態の場合も、PUK 復旧後の新しい PIN を入力します。
4	CHANGE PIN- new PIN(re-input)	new PIN と同じものを入力します。
5	CHANGE PIN- SET ボタン	PIN 変更(又は PUK 復旧)を実行します。
6	PIN INPUT STATUS- input PIN	現在の PIN を入力します。 PUK 状態では実行できません。
7	PIN INPUT STATUS- PIN STATUS	本体起動時に PIN 入力をするかを設定します。 Disable にすると PIN 入力は不要になります。
8	PIN INPUT STATUS- SET ボタン	PIN STATUS を設定します。

6.16. NETWORK 画面

NETWORK 画面では、以下の 4 つの機能の設定を行います。

- APN Profile
- Packet Filter
- Packet detection activate
- Always activate

これらの機能は、下図、画面左上のプルダウンメニューから選択できます。

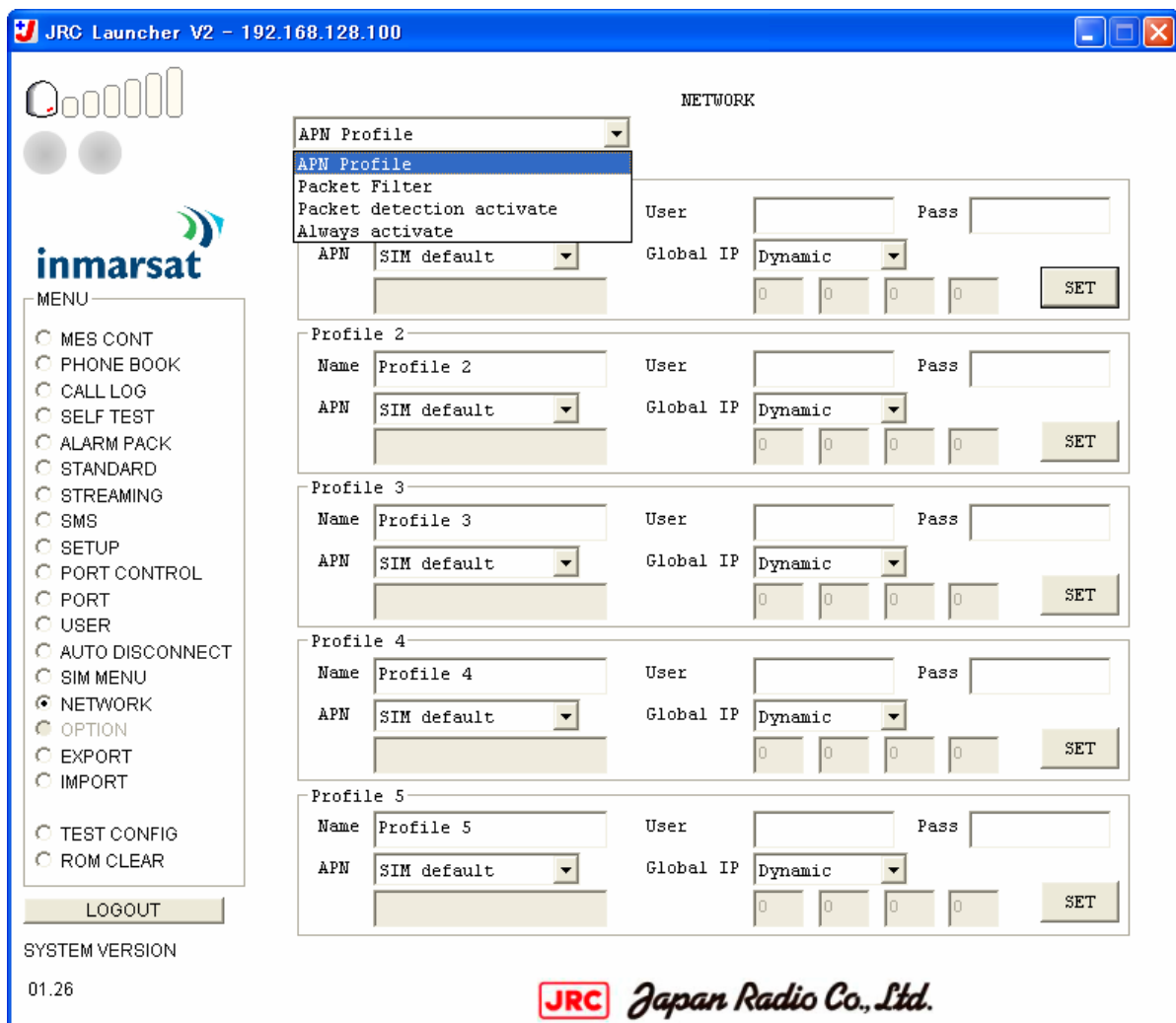


図 26 NETWORK 画面

6.16.1. APN Profile

APN Profile 画面では、Standard IP 接続や Streaming IP 接続で使用する Profile を登録します。Profile とは、APN、Username、Password、Global IP の設定をひとまとめにし、名前を付けたものです。登録した Profile は、Standard 画面、Streaming 画面、USER 画面、Packet detection activate 画面、及び、Always activate 画面で使用します。

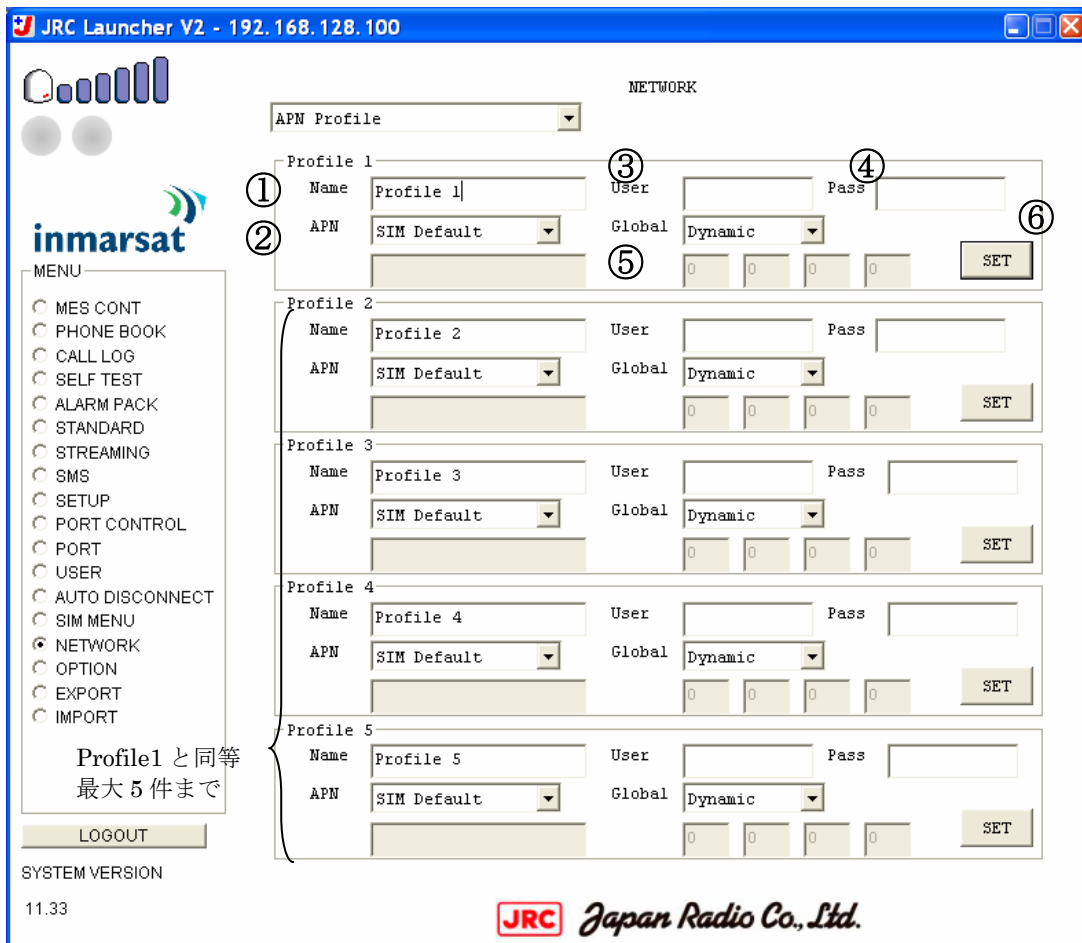


図 27 APN Profile 画面

表 27 APN Profile 画面項目

No	項目	説明
1	Name	Profile の名前を設定します。 Profile の名前は USER/STANDARD/STREAMING/Packet detection activate/Always active 画面のプルダウンメニュー名として使用されます。
2	APN	APN 種別を SIM Default/Network assigned/User defined から選択します。 User defined を指定した場合は、APN 任意に入力できます。 (必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
3	User	ユーザ名を設定します。 (必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
4	Pass	パスワードを設定します。 (必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
5	Global	Global IP の割り当て方法を、Dynamic と Static から選択します。 Static を選択した場合は、Global IP を入力できます。 (必要に応じてサービスプロバイダから提供されます)
6	SET ボタン	Profile 1 件分を登録します。

6.16.2. Packet Filter

Packet Filter 画面では、パケットのフィルタリング設定が行えます。設定により、本体に対する入出力パケットを破棄又は通過させることができます。初期設定ではフィルタリング設定がないため、本体はすべてのパケットを通過させます。

Packet Filter 画面は NETWORK メニュー選択後、画面上部のプルダウンメニューより、Packet Filter を選択することで表示できます。

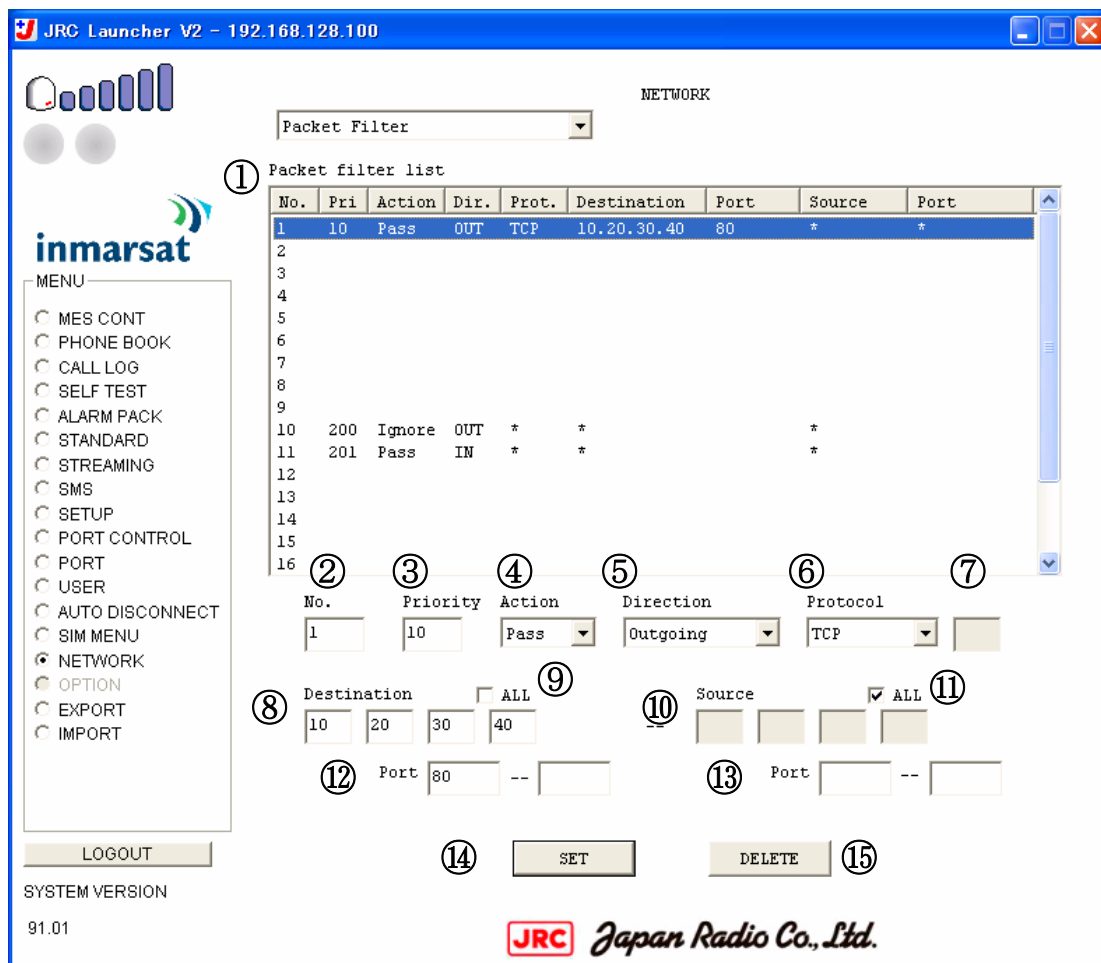


図 28 Packet filter 画面

表 28 Packet Filter 画面項目

No	項目	説明
1	一覧	設定済みのフィルタの一覧を表示します。 *はワイルドカードを表し、全ての値に該当します。
2	No.	フィルタの通し番号です。
3	Priority	フィルタの優先順位です。 優先順位は 0~255 まで設定でき、数字の小さいフィルタが優先的に処理されます。
4	Action	フィルタに該当したパケットの Pass(通過)又は Ignore(破棄)を選択します。
5	Direction	パケットの方向を Outgoing(外向け)/Incoming(内向け)から選択します。
6	Protocol	プロトコルを ALL/TCP/UDP/ICMP/Specific(プロトコル番号指定)から選択します。 Specific を選択した場合、プロトコル番号を指定します。 TCP/UDP を選択した場合、No.12 と No.13 を指定します。
7	プロトコル番号	Protocol で Specific を選択した場合、プロトコル番号を指定します。
8	Destination	パケットの宛先 IP アドレスを指定します。
9	Destination ALL	パケットの宛先 IP アドレスに関わらずフィルタを適用する場合にチェックします。
10	Source	パケットの発元 IP アドレスを指定します。
11	Source ALL	パケットの発元 IP アドレスに関わらずフィルタを適用する場合にチェックします。
12	Destination port	※ Protocol が TCP か UDP の場合に限り、設定可能です。 パケットの宛先ポート番号の範囲を指定します。 ポート番号は、範囲、1つ又は全てを指定できます。 ポート番号 5000 から 5050 までをフィルタする場合は、5000 と 5050 を指定します。 ポート番号 80 だけをフィルタする場合は、80 と空欄を指定します。 全てのポート番号指定する場合は、全て空欄にします。
13	Source port	パケットの発元ポート番号の範囲を指定します。
14	SET	パケットフィルタを1件設定します。
15	DELETE	パケットフィルタを1件削除します。

パケットフィルタの設定例

以下に、パケットフィルタの設定例を2つ示します。

(1) SMTP(TCP ポート 25)と POP3(TCP ポート 110)のパケットだけを通過させる場合

1. SMTP(TCP ポート 25)への送信を許可するため No.1 を追加します。
2. SMTP(TCP ポート 25)からの受信を許可するため No.2を追加します。
3. POP3(TCP ポート 110)への送信を許可するため No.3 を追加します。
4. POP3(TCP ポート 110)からの受信を許可するため No.4 を追加します。
5. 手順 1~4 で設定した優先度より低い優先度で全ての送信パケットを破棄するため No10 を追加します。
6. 手順 1~4 で設定した優先度より低い優先度で全ての受信パケットを破棄するため No11 を追加します。

Packet filter list

No.	Pri	Action	Dir.	Prot.	Destination	Port	Source	Port
1	10	Pass	OUT	TCP	*	25	*	*
2	11	Pass	IN	TCP	*	*	*	25
3	12	Pass	OUT	TCP	*	110	*	*
4	13	Pass	IN	TCP	*	*	*	110
5								
6								
7								
8								
9								
10	200	Ignore	OUT	*	*		*	
11	201	Ignore	IN	*	*		*	
12								
13								
14								
15								
16								

図 29 パケットフィルタ例 1

(2) 特定 PC (192.168.128.50) のパケットだけを通過させる場合

1. 特定の IP アドレス (192.168.128.50) からの送信を許可するため No.1 を追加します。
2. 特定の IP アドレス (192.168.128.50) への受信を許可するため No.2 を追加します。
3. 手順 1~2 で設定した優先度より低い優先度で全ての送信パケットを破棄するため No.10 を追加します。
4. 手順 1~2 で設定した優先度より低い優先度で全ての受信パケットを破棄するため No.11 を追加します。

Packet filter list

No.	Pri	Action	Dir.	Prot.	Destination	Port	Source	Port
1	10	Pass	OUT	*	*		192.168.128.50	
2	11	Pass	IN	*	192.168.128.50		*	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10	200	Ignore	OUT	*	*		*	
11	201	Ignore	IN	*	*		*	
12								
13								
14								
15								
16								

図 30 パケットフィルタ例 2

6.16.3. Packet detection activate

Packet detection activate 機能は、PS 通信可能状態時に、あらかじめ指定した IP アドレス(範囲指定可)の端末から外部ネットワーク宛に送出されたパケットを JUE-250/500 が検出し、そのパケットを送信した端末に対して、自動的に Standard IP 回線を接続する機能です。本機能で接続された Standard IP 回線の切断は、自動切断(AUTO DISCONNECT)の Standard IP 設定に従います。Packet detection activate 画面では、その設定を行います。

<注意>

- Ethernet ポートに接続された端末の設定内容や運用によっては、意図しない自動接続が発生する可能性があります。また、自動接続中に、意図しないパケットが端末より外部ネットワークに送信され課金対象になる可能性があります。そのため、本機能はパケットフィルタ機能等と併用し、意図しない自動接続、及び、パケット送信が行われぬよう十分注意してください。
- 弊社は、本機能のご使用中に生じた料金トラブルについては、法令上賠償責任が認められる場合を除きその責任を負えません。
- Standard IP 回線の接続と切断のみを行う場合も、SIM カードのプロバイダによっては、課金対象となる可能性があります。
- 本機能で使用する IP アドレスと、Always activate 機能で使用する IP アドレスの設定は重複させないでください。

<注意>

Packet detection activate 機能を使用する場合には、端末の IP アドレス及び DNS アドレスを手動で設定する必要があります。端末の設定方法は、JUE-250 又は JUE-500 の取扱説明書 6 章「JUE-250/500 上での IP アドレス割当」(JUE-250:page 69, JUE-500:page6-9)を参照下さい。

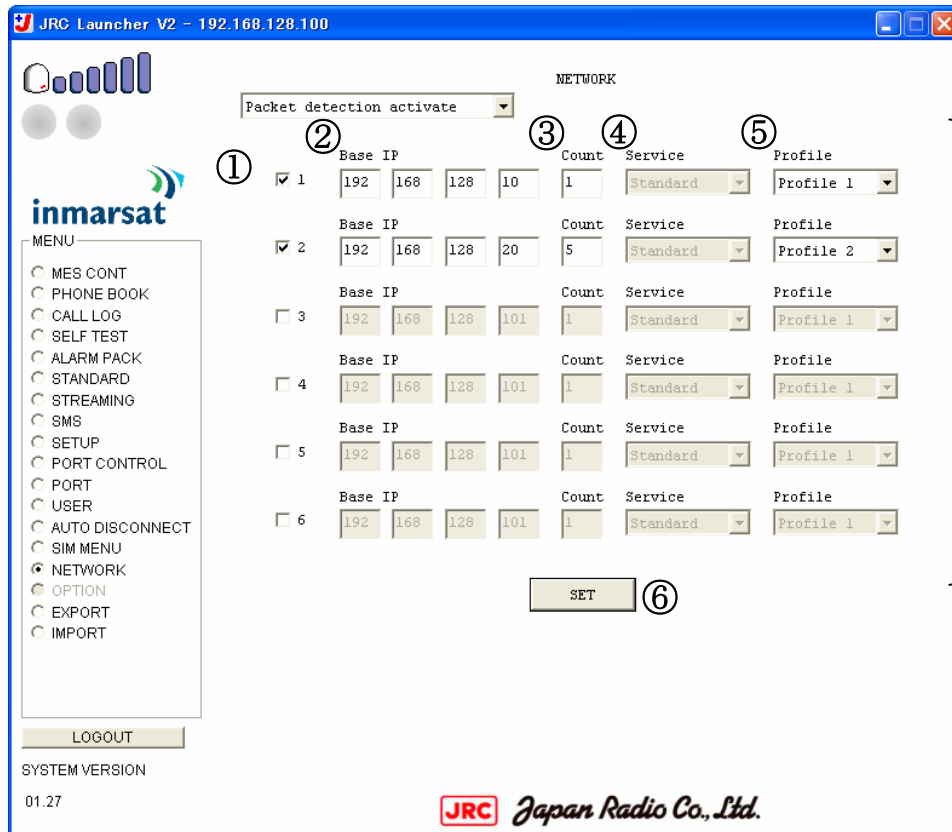


図 31 Packet detection activate 画面

表 29 Packet Detection Activate 画面項目

No	項目	説明
1	有効/無効チェックボックス	設定の有効無効を切り替えます。 チェックが入っている: 設定有効 チェックが入っていない: 設定無効(グレーアウトし、設定変更を禁止する。)
2	Base IP	接続対象の開始 IP アドレスを指定します。
3	Count	Base IP からの接続対象範囲を指定します 範囲は 1~254 まで設定できます。(単一 IP の場合は1を設定)。 接続対象範囲の IP の第 4 オクテットが 255 以上になる値も設定できません。 NG 例 1: Base IP=10.1.1.0, Count=255(設定範囲外) NG 例 2: Base IP=10.1.1.254, Count=2(第 4 オクテットが 255 以上)
4	Service	接続サービスを Standard か Streaming から選択します。 ※現在 Service の設定は Standard 固定です。Streaming は設定できません。
5	Profile	接続に使用する Profile を選択します。 Profile 情報は[NETWORK]-[APN Profile]画面で設定してください。
6	SET ボタン	全設定項目を登録します。設定の反映には、本体の再起動が必要です。

6.16.4. Always activate

Always activate 機能は、本体ユニットの電源 ON 後、PS 通信可能状態になった時に、あらかじめ指定した IP アドレスの端末に対して、自動的に Standard IP 回線を接続し、回線を維持(回線が何らかの理由により切断された場合、再度自動的に回線を接続します)する機能です。Always activate 画面では、その設定を行います。

<注意>

- 本機能は、AUTO DISCONNECT 設定に関係なく回線を維持します。
- Ethernet ポートに接続された端末の設定内容や運用によっては、自動接続中に、意図しないパケットが外部ネットワークに送信され課金対象になる可能性があります。そのため、本機能はパケットフィルタ機能等と併用し、意図しないパケット送信が行われないうち十分注意してください。
- 弊社は、本機能のご使用中に生じた料金トラブルについては、法令上賠償責任が認められる場合を除きその責任を負えません。
- Standard IP 回線の接続と切断のみを行う場合も、SIM カードのプロバイダによっては、課金対象となる可能性があります。
- 回線が接続されているにも関わらずパケット送受信できない場合は、Standard 画面にて一度回線を切断し、再度回線が自動接続した後にパケット送受信を試みてください。
- 本機能で使用する IP アドレスと、Packet detection activate 機能で使用する IP アドレスの設定は重複させないでください。

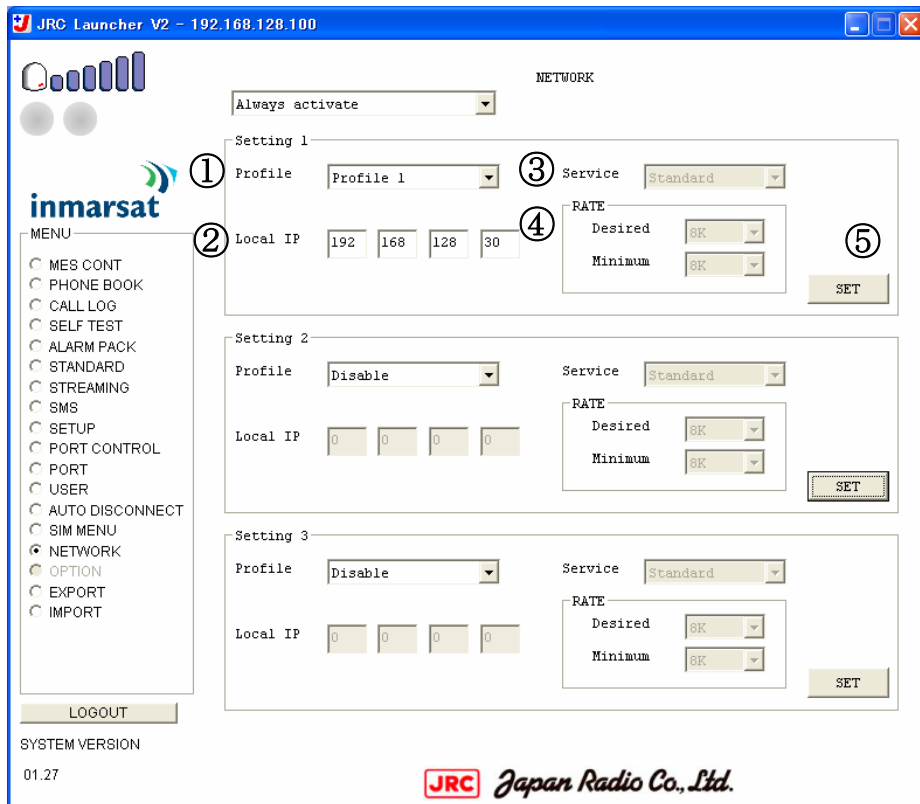


図 32 Always activate 画面

表 30 Always activate 画面項目

No	項目	説明
1	Profile	接続に使用する Profile を選択します。 Profile 情報は[NETWORK]-[APN Profile]画面で設定してください。 Disable を選択すると、設定は無効となり、設定はグレーアウトされ、変更できません。
2	Local IP	接続するローカル IP を指定します。
3	Service	接続サービスを Standard か Streaming から選択します。 ※現在 Service の設定は Standard 固定です。Streaming は設定できません。
4	RATE	Service が Streaming 時に RATE を選択します。 Standard 時にはグレーアウトし、設定できません。
5	SET ボタン	設定を1件登録します。 設定の反映には、本体の再起動が必要です。

6.17. OPTION 画面 (FB500 のみ選択可能)

OPTION 画面では、OIU に接続する装置に関する設定と OIU の IP を設定できます。

GPS/DIAGNOSTIC/IP の設定は、反映させる為設定後、本体の再起動が必要です。

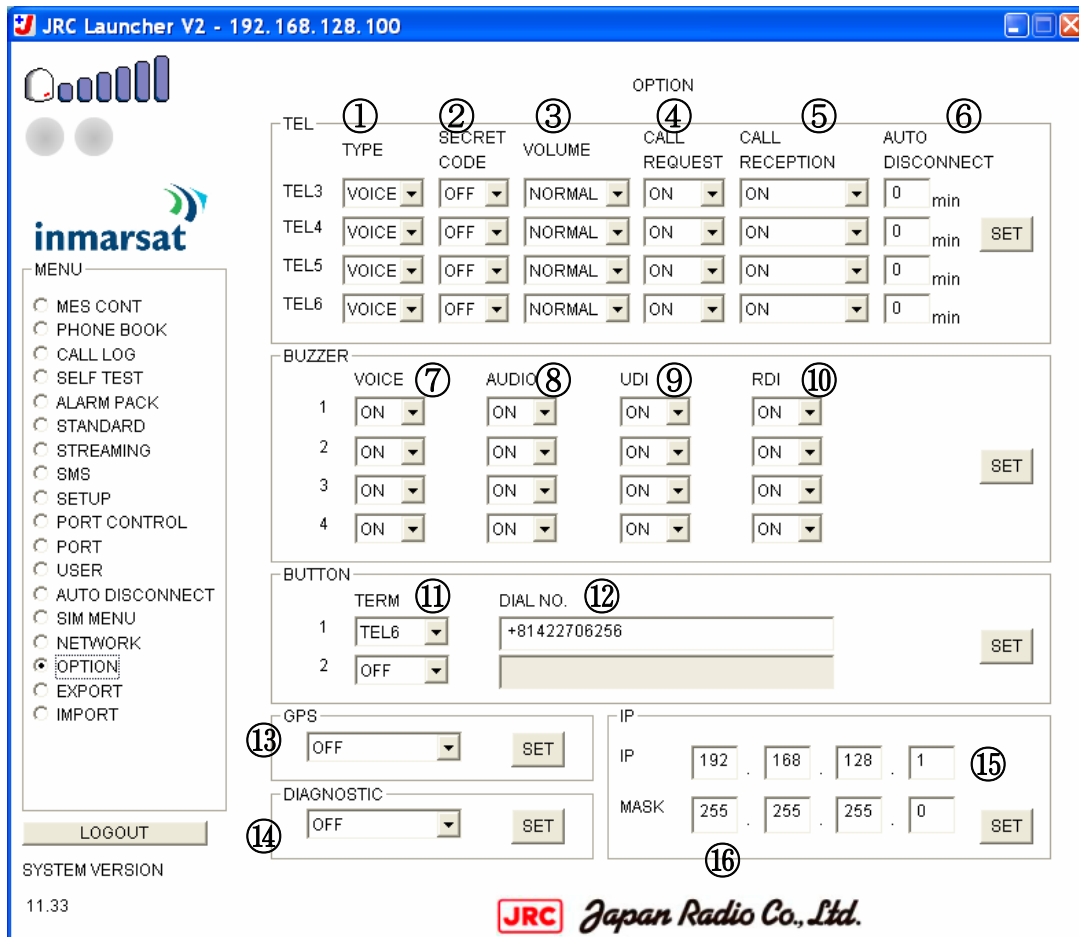


図 33 OPTION 画面

表 31 OPTION 画面項目

No	項目	説明
1	TEL-TYPE	TEL3~6 を VOICE/FAX どちらで使用するかを設定します。 BOTH を設定すると、どちらの着信でも受け取れます。その場合、発信は VOICE になりますので、FAX での発信が必要な場合は、相手先番号の前に * * をつけて発信してください。
2	TEL-SECRET CODE	TEL3~6 でのシークレットコードの使用有無を設定します。
3	TEL-VOLUME	TEL3~6 のボリュームを設定します。
4	TEL-CALL REQUEST	TEL3~6 の発信許可/不許可を設定します。
5	TEL-CALL RECEPTION	TEL3~6 の着信許可/不許可/Ring が鳴動するまでの時間を設定します。 Ring が鳴動するまでの時間は、5 秒、10 秒、20 秒から選択できます。
6	TEL-AUTO DISCONNECT	TEL3~6 の自動切断時間又は自動切断なしを設定します。(最大 240 分)
7	BUZZER-VOICE	BUZZER1~4 が VOICE 着信で鳴動するかを設定します。
8	BUZZER-FAX	BUZZER1~4 が FAX 着信で鳴動するかを設定します。
9	BUZZER-UDI	BUZZER1~4 が UDI 着信で鳴動するかを設定します。
10	BUZZER-RDI	BUZZER1~4 が RDI 着信で鳴動するかを設定します。
11	BUTTON-TERM	BUTTON1~2 を押した時に発信に使用する端末を設定します。又は使用しないことを設定します。
12	BUTTON-NO	BUTTON1~2 を押した時に発信する番号を設定します。
13	GPS	外部GPSを接続する場合は、接続方法を設定します。
14	DIAGNOSTIC	VDRを接続する場合は、接続方法を設定します。
15	IP	OIU の IP アドレスを設定します。
16	MASK	OIU のサブネットマスクを設定します。

6.18. EXPORT 画面

EXPORT 画面では、各設定情報を外部ファイルへ EXPORT します。

EXPORT したデータは、JRC Launcher V2 の IMPORT 画面で IMPORT できます。

※JRC Launcher V2 で EXPORT したデータは、OIU-WEB では IMPORT できません。

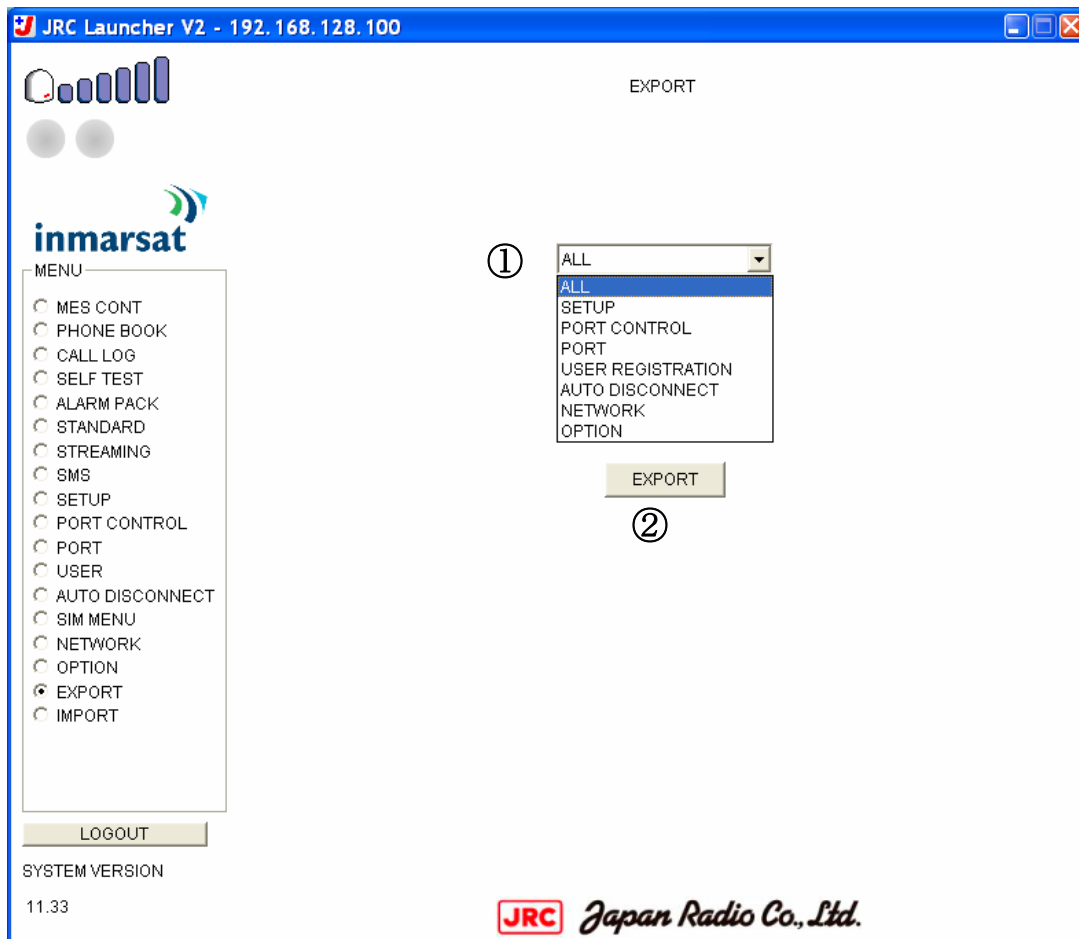


図 34 EXPORT 画面

表 32 EXPORT 画面項目

No	項目	説明
1	EXPORT データ選択 プルダウンメニュー	EXPORT するデータを選択します。 選択肢は、以下の 7 種類のデータとその全てを含む ALL の 8 つです。 <ul style="list-style-type: none">・SETUP・PORT CONTROL・PORT・USER REGISTRATION・AUTO DISCONNECT・NETWORK・OPTION (JUE-500 限定) それぞれのデータは、その設定画面の内容と同等です。
2	EXPORT ボタン	選択したデータを EXPORT します。

6.19. IMPORT 画面

IMPORT 画面では、JRC Launcher V2 の EXPORT 画面で EXPORT した設定データを IMPORT できます。

※OIU-WEB で EXPORT したデータは、JRC Launcher V2 では IMPORT できません。

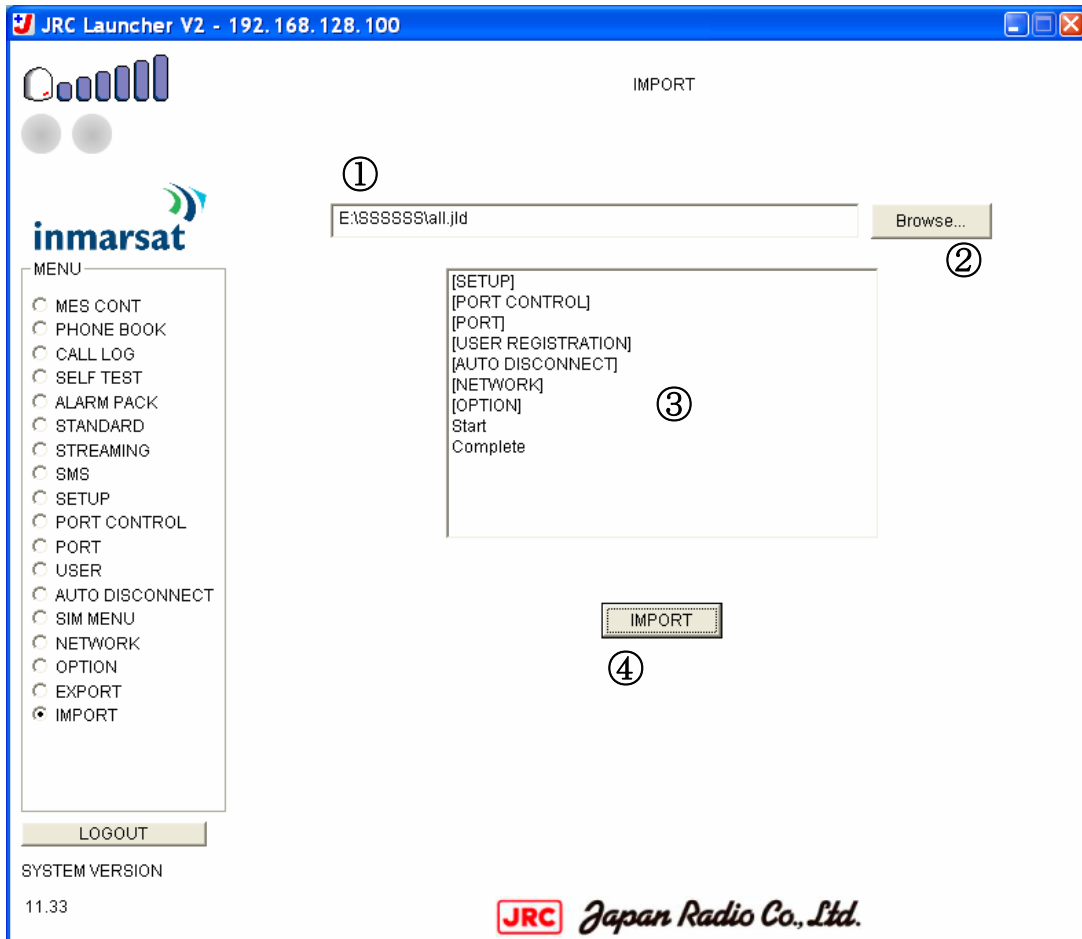


図 35 IMPORT 画面

表 33 IMPORT 画面項目

No	項目	説明
1	IMPORT ファイル欄	IMPORT するファイルをフルパスで指定します。 Browse ボタンを押すことでダイアログから選択することもできます。
2	Browse...ボタン	IMPORT するファイルを選択するダイアログを開きます。
3	結果表示欄	IMPORT 結果を表示します。 "[X]" : Import 処理したデータを示します。 (X にはデータの種類が入ります。表 32 の No.1 を参照) "Complete" : Import 処理の終了を示します。 "Result" : が表示された場合、いずれかの設定が Import に失敗した事を示し、その下の行に失敗内容を示します。
4	IMPORT ボタン	IMPORT ファイル欄で指定したファイルを IMPORT します。

7. 接続する本体 (FB250 と FB500) による違い

JRC Launcher V2 は、接続する本体が FB250 の場合と FB500 の場合で一部動作が異なります。その差異を以下にまとめます。

表 34 FB250 と FB500 の違い

No	差異のある箇所	FB250 場合	FB500 の場合
1	MENU OPTION	無効化され、選択できません。	選択できます。
2	CALL LOG	SERVICE TYPE に UDI と RDI がありません。	SERVICE TYPE に UDI と RDI があります。
3	ALARM PACK	FB500 固有のパラメタは空欄表示します。	全てのパラメタを表示します。
4	STREAMING のレート	256K が選択肢にありません。	256K を選べます。
5	SETUP GYRO 種別	NMEA(38.4k)と LAN が選択肢にありません。 (SYS01.24 以降は、NMEA(38.4k)を選択できます)	NMEA(38.4k)と LAN が選べます。
6	PORT CONTROL	CALL REQUEST と CALL RECEPTION を設定できません。 (SYS01.24 以降は設定できます)	CALL REQUEST と CALL RECEPTION を設定できます。
7	PORT MSN	UDI と RDI の MSN が設定できません。	UDI と RDI の MSN が設定できます。
8	EXPORT	OPTION が選択肢にありません	OPTION を選べます。
9	IMPORT	OPTION 設定を IMPORT するとエラーになります。	OPTION 設定を IMPORT できます。

8. エラーコード

JRC Launcher は、操作時にエラーが発生した場合、以下のエラーを表示します。
各エラーの説明を以下に記述します。

表 35 エラーコード一覧(1/2)

番号	表示文字列	説明
ユーザ入力時返却されるエラー1 (JRC Launcher 返却)		
0001	Illegal input value	入力値に誤りがあります。 ※例えば、Heading 値に 400 度と入力して SET 等
0002	Status error	現在状態では実行できません。
0003	BDE is not connected	BDE と接続されていません。
0004	BDE is disconnected	BDE から切断されました。(CM リンク)
0005	BDE is disconnected	BDE から切断されました。(IB リンク)
0101	The same priority was specified.	パケットフィルタで重複する優先順位を指定しました
0998	Wait connecting	IB が接続されていない認証エラー
0999	Authentication error	認証エラー
BDE 側のエラー (Core Module 返却)		
1001	CM error	Core Module から異常な応答がありました。
1002	CM error [AT response]	コマンド応答を拒否されました。
1003	CM error [access refused]	アクセスが拒否されました。
1004	CM error [read]	読出しに失敗しました。
1005	CM error [write]	保存に失敗しました。
1006	CM error [delete]	削除に失敗しました。
1007	CM error [send]	送信に失敗しました。
1008	CM error [status change]	ステータス変更に失敗しました。
1009	CM error [incorrect password]	パスワード認証が失敗しました。
BDE 側のエラー		
2001	IB error	IB にエコー応答を拒否されました
2002	IB error	IB に画面データ読み出しを拒否されました
2003	IB error [reserved command]	IB に予約済みのコマンドを拒否されました
2004	IB error	IB に通常コマンドを拒否されました
2005	IB error [illegal command]	IB に不正なコマンドを拒否されました
2006	IB parameter is few	IB からの応答メッセージのパラメタが足りません
2007	IB error [CM response]	IB へのコマンド転送を CM に拒否されました

表 36 エラーコード一覧(2/2)

番号	表示文字列	説明
システムエラー		
9001	GM Socket error	ソケット通信エラーです
9002	IB Socket error	ソケット通信エラーです
9003	Logfile open error	ログファイルのオープンに失敗しました
9004	Standard file open error	Standard 設定ファイルのオープンに失敗しました
9005	Streaming file open error	Streaming 設定ファイルのオープンに失敗しました
9006	Import file open error	指定された Import ファイルのオープンに失敗しました
9007	Export file open error	指定された Export ファイルのオープンに失敗しました
9008	Export file write error	Export ファイルへの書き込みに失敗しました
9999	Error	その他のエラー

9. エクスポートファイル

エクスポートファイルは、Export メニューで作成できます。

エクスポートしたデータ毎に以下のデフォルト名がつけますが、ユーザが任意のファイル名に変更することが可能です。

No	ファイル名	内容
1	setup.jld	SETUP メニューの内容をエクスポートしたデータ
2	portctrl.jld	PORT CONTROL メニューの内容をエクスポートしたデータ
3	port.jld	PORT メニューの内容をエクスポートしたデータ
4	user.jld	USER REGISTRATION メニューの内容をエクスポートしたデータ
5	autodisc.jld	AUTO DISCONNECT メニューの内容をエクスポートしたデータ
6	network.jld	NETWORK メニューの内容をエクスポートしたデータ
7	option.jld	OPTION メニューの内容をエクスポートしたデータ
8	all.jld	上記 7 種全ての内容をエクスポートしたデータ

10. 略語・用語集

A

ADE (Above Deck Equipment)

船上装置

APN (Access Point Name)

アクセス・ポイント名

B

BDE (Below Deck Equipment)

船内装置

Bit

ビット

BPS (bit per second)

1 秒当りのビット数

Byte

バイト

C

COMM (Communication)

通信

CS (Circuit Switched)

回路交換

D

DEL (Delete)

削除

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

コンピュータに、IP アドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるプロトコル

DNS (Domain Name System)

ドメイン名システム

E

EIRP (Effective Isotropically Radiated Power, a measure of transmitted power)

等価等方放射電力

EXT (External)

外部

G

GPS (Global Positioning System)

全地球位置情報システム

I

IMEI (International Mobile Equipment Identity)	国際携帯電話の機体識別番号
IMSI (International Mobile Subscriber Identity)	国際移動電話加入者識別番号
INFO (Information)	情報
INMARSAT (International Maritime Satellite Organization)	国際海事衛星機構
ISDN(Integrated Services Digital Network)	総合デジタル通信網

L

LCD (Liquid Crystal Display)	液晶ディスプレイ
LED (Light Emitting Diode)	発光ダイオード
LT (Local Time)	現地時間

M

MES (Mobile Earth Station)	携帯移動地球局
MSISDN (Mobile Subscriber ISDN)	携帯電話番号

N

NMEA (National Marine Electronics Association)	全米海洋エレクトロニクス協会
--	----------------

P

Packet	パケット
PC (Personal Computer)	パーソナル・コンピュータ
PIN (Personal Identification Number)	個人識別番号
Protocol	プロトコル
PS(Packet Switched)	パケット交換
PUK(Personal Unlock Key)	PIN ロック解除キー

R

REC (Receiving Level)	受信レベル
RX (Receive/Receiver)	受信／受信機

S

SIM (Subscriber Identity Module)

加入者識別モジュール

SMS (Short Message Service)

ショート・メッセージ・サービス

T

TX (Transmit/ Transmitter)

送信 / 送信機

U

USB (Universal Serial Bus)

パソコンと周辺機器を接続するためのデータ転送規格

UTC (Universal Coordinated Time)

国際標準時間

11. ALARM PACK の省略文字

表 37 BDE/ADE ALARM 省略文字一覧

表示文字列	内容
FAN	FAN error.
AXIS	ADE Axis error.
ACC	ADE Acc error.
RATE	ADE rate sensor error.
MEM	ADE memory error.
OPWR	TX ALARM : Off Power
HPWR	TX ALARM : High Power
BURST	TX ALARM : Burst
PROG	ADE program error.
GPS	GPS error.
ADEC	ADE Communication error.
CMC	CM Communication error.
HSC	HANDSET Communication error.
CALIB	Cable calibration error.
IOM2	IB-CM IOM2 Bus error.
IBCM	IB-CM AT command error.
GYC	GYRO Communication error.
NSK1	NSK Unit NOINT error.
NSK2	NSK Unit Sync IM error.
NSK3	NSK Unit Step IM error.
NSK4	NSK Unit R1R2det error.
NSK5	NSK Unit WDT error.
NSK6	NSK Unit program error.
IUPG	IB Upgrade error.
AUPG	ADE Upgrade error.
OCOMM	OIU Communication error.
EXGPS	External GPS error.

12. FAQ

本章では、よく問い合わせを受ける質問について対応方法をまとめます。

表 38 FAQ

No	Q	A
1	ログインできない 999 Wait connecting が表示される	<p>ログイン画面の右下にある CM と IB の状態表示の両方が Connected にならないとログインできません。</p> <p>しばらく待っても改善しない場合は、以下の手順を試してください。</p> <p>CM が Connected にならない場合は、本体の電源と LAN ケーブルの接続を確認してください。</p> <p>CM が Connected にならない場合は、本体の IP アドレスをハンドセットから確認してください。ハンドセットの MENU - 9 ADMIN<secret code 0001 > - 3 Port - 3 Ethernet で確認できます。JRC Launcher V2 の上部に表示された IP アドレスと異なる場合は、IP ボタンを押して、確認した本体の IP アドレスを入力してください。</p> <p>CM は Connected になるのに、IB が Connected にならない場合は、起動中又はハンドセットが接続されていないことが考えられます。本体起動中の場合は、ハンドセットの表示が Initialize でなくなり数秒で IB Connected になります。ハンドセットが接続されていない場合は、JRC Launcher V2 は使用できません。ハンドセットを接続して本体を再起動してください。</p>
2	7001 Data reading failure が表示される	<p>JRC Launcher V2 と本体との通信が輻輳すると表示されます。</p> <p>複数の JRC Launcher V2 を接続したり、本体に負荷がかかっている状態でコールログなどの大きなデータを読み出した場合に発生することがあります。しばらく待って、再度読み出しを実行するか、JRC Launcher V2 を再起動してください。</p>
3	コールログが一部表示されない	No.2 と同じ
4	アラームパックが一部表示されない	No.2 と同じ
5	JRC Launcher V2.0.4.X で、 Standard 接続画面と、 Streaming 接続画面を JRC Launcher V2.0.3.X と同じように 使いたい	<p>ユーザ設定で、全てのユーザの Standard profile と Streaming profile を Manual に設定し、MULTI のチェックボックスにチェックを入れると使い勝手は同じになります。</p>
6	TCP PEP が操作できない (WindowsXP)	<p>TCP PEP がインストールされていない場合、TCP PEP の項目はグレーアウトされ設定を変更できません。</p> <p>TCP PEP をインストールしてください。その後、JRC Launcher V2 を起動してください。</p>

7	TCP PEP が操作できない (WindowsVista/Windows7)	TCP PEP がインストールされていない場合、または、JRC Launcher を管理者権限で起動していない場合は TCP PEP の項目はグレーアウトされ設定を変更できません。 TCP PEP がインストールされていない場合は、TCP PEP をインストールしてください。 TCP PEP インストール後、管理者権限で JRC Launcher V2 を起動してください。
---	--	--

13. 改版履歴

版	日付	内容
1.5	2010/02/13	初期リリース
1.6	2010/04/08	1.3 動作確認に追記 1.4 使用 TCP ポートを追加 1.6 使用上の注意を追加 2.1 アップグレードを追加
1.7	2010/09/21	JRC Launcher V2.0.4.0 対応 1.2 機能比較の機能比較表更新 1.4 動作環境に JRC Launcher V2 と SYS バージョンの対応を追加 3.1 ログインにパスワードを覚えるチェックボックスの説明追加 5 通信を行う の説明変更 6.7 STANDARD 画面 画面改訂に伴い説明変更 6.8 STREAMING 画面 STANDARD と同様の説明変更 6.9 SMS 画面 送信文字コード(GSM7/Unicode)の説明追加 6.11 PORT CONTROL 画面 の説明更新 6.13 USER 画面 Standard/Streaming 及び Single/Multi の説明追加 6.14 AUTO DISCONNECT 画面 STANDARAD の自動切断の説明追加 6.16 NETWORK 画面 NETWORK の説明追加 6.17 OPTION 画面(FB500 のみ選択可能)の更新 7. 表 34 FB250 と FB500 の違い の比較表更新 8. エラーコード変更 0998 の表示文字列変更 3000 番台エラー未使用のため削除 12 FAQ を新規に追加
1.8	2011/02/04	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の画面を追加。(付随する項目も追記) 「6.16.3 Packet detection activate」 「6.16.4 Always activate」 ・Std/Str 接続の CONNECT ボタンの説明修正(表 12,表 14) ・TSP PEP 説明追加(表 12,表 14) ・誤植修正 ・「11.ALARM PACK の省略文字」を追加 ・「12.FAQ」に TCP PEP の操作ができない場合を追加
1.9	2011/03/29	「6.16.3 Packet detection activate」の注意書き追加